

主要課題1 男女平等意識の推進

1. 男女共同参画社会形成のための情報提供、啓発活動の推進

事業名	1 男女共同参画推進の拠点としての情報提供や啓発活動の実施	担当:地域推進課	達成度
<p>今年度実施した取り組み</p>	<p>・国・県・関係機関が作成した啓発資料を設置した。広報つくばみらい11月号, 3月号に, 男女共同参画に関する当市の取組等の記事を掲載した。市HPやツイッターを活用して, イベントや男女共同参画標語の募集を行った。</p> <p>・以下の機会に, 市男女共同参画推進委員にも協力いただき, 啓発活動を実施した。</p> <p>①行政協力員会議 啓発ティッシュ21個配布 ②家庭教育学級事業説明会 第2次男女共同参画計画概要版66枚 ③行政協力員研修会 啓発ティッシュ25個配布 ④みらいフェスタ 啓発ティッシュ 400個配布 ⑤カスミ谷井田店前 第2次男女共同参画計画概要版, 男女共同参画標語応募用紙, 啓発ティッシュ 150個配布 ⑥平成31年成人式 第2次男女共同参画計画概要版, 男女共同参画推進条例概要版, クリアファイル 325組配布</p> <p>・男女共同参画推進月間である11月に, 図書館にて男女共同参画に関する特集コーナーを設置した。</p>		<p>① 計画どおりに達成できた ② ほぼ計画通りに達成できた ③ 計画にほぼ及ばない ④ 計画にまったく及ばない ⑤ 実施しなかった</p> <p>効果</p> <p>男女の人権を尊重する意識を育むことができる 自分の生き方を自分で決めることができる 性別による役割分担意識の解消ができる 地域社会や団体等で男女共にリーダーシップを発揮することができる 性別に関係なく, 個人の個性・能力に応じた学習機会を提供できる</p>
<p>現状と課題</p>	<p>若い世代や子育て世代に対する啓発機会が少ないことを踏まえ, 家庭教育学級説明会やみらいフェスタなどのイベントで啓発活動を実施した。</p>		<p>今後の方向</p>
<p>今後の取り組み</p>	<p>引き続き, 若い世代・子育て世代が集まる機会にあわせた啓発活動を継続するとともに, 様々な媒体を通じて情報提供を行う。経緯</p>		<p>1. 充実させる ②. 継続 3. 見直し 4. 廃止 5. その他()</p>
事業名	2 講演会・フォーラムの実施	担当:地域推進課	達成度
<p>今年度実施した取り組み</p>	<p>・中学生に対する職員による出前講座 テーマ「みんなが自分らしく生きるために」の実施 男女共同参画社会実現のためには, 一人でも多くの人々が男女共同参画の必要性を正しく理解し, 意識を持って行動することが重要であることから, 柔軟な考え方の中学1年生を対象に出前講座を実施した。講師は, 市職員が務め, 普段の生活のなかの出来事や, 職業選択のこと, 自分らしさのことなど, 身近な事例を取り上げ, 中学生に男女共同参画とはどういったものかを説明した。また, 学校教諭から回収したアンケートをもとに, 内容を一部変更したことで, 今の実情に添った資料になった。</p> <p>・「どすこい! クッキング! パパといっしょにクッキング」の実施 父親の子育て参加や, ワークライフバランス(仕事と家庭の調和)について考えてもらうきっかけ作りを目的に, 小学生とその父親を対象に料理教室を実施した。12組の親子が参加し, 立浪部屋力士を講師に, ちゃんこ鍋作りや, レクリエーションを楽しんだ。</p>		<p>1 計画どおりに達成できた ② ほぼ計画通りに達成できた ③ 計画にほぼ及ばない ④ 計画にまったく及ばない ⑤ 実施しなかった</p> <p>効果</p> <p>男女の人権を尊重する意識を育むことができる 性別による役割分担意識の解消ができる 男女がそれぞれ経済的, 社会的に自立できる社会ができる 性別に関係なく, 個人の個性・能力に応じた学習機会を提供できる</p>
<p>現状と課題</p>	<p>「どすこい! クッキング!」の募集にあたり, 市内全小学生に対するチラシの配布を行わなかった結果, 募集が減ってしまった。</p>		<p>今後の方向</p>
<p>今後の取り組み</p>	<p>市内小学生に対してチラシの配布を行い, イベントを十分に周知して継続した取組を行う。</p>		<p>1. 充実させる ②. 継続 3. 見直し 4. 廃止 5. その他()</p>

事業名	3 男女共同参画に関する理念や法制度の理解促進	担当:地域推進課	達成度
今年度実施した取り組み	<p>・男女共同参画社会の実現のためには、一人でも多くの人々が男女共同参画の必要性を正しく理解し、意識を持って行動することが大切であることから、市の推進月間である11月に、市内中学校に通う1年生を対象に出前講座を実施した。講師は市職員が務め、普段の生活の中から男女共同参画にまつわる身近な事例を取り上げながら、中学生に男女共同参画とはどういったものかを説明した。</p> <p>・男女共同参画に対する理解を深めてもらえるよう、男女共同参画推進月間である11月に、図書館に男女共同参画に関する特集コーナーを設置した。</p>	① 計画どおりに達成できた ② ほぼ計画通りに達成できた ③ 計画にほぼ及ばない ④ 計画にまったく及ばない ⑤ 実施しなかった	効果
		男女の人権を尊重する意識を育むことが期待できる	
		現状と課題	思考が柔軟な中学生を対象として、男女共同参画の理念を学ぶ講座を実施している。
今後の取り組み	中学生出前講座を継続して行っていくことで、当市の男女共同参画社会の早期実現を目指す。	1. 充実させる ②. 継 続 3. 見直し 4. 廃止 5. その他()	
事業名	4 男女共同参画都市宣言の周知	担当:地域推進課	達成度
今年度実施した取り組み	<p>・市民を対象として行った啓発活動にて、都市宣言が掲載された第2次男女共同参画計画概要版や、ポケットティッシュを配布し、周知した。</p>	① 計画どおりに達成できた ② ほぼ計画通りに達成できた ③ 計画にほぼ及ばない ④ 計画にまったく及ばない ⑤ 実施しなかった	効果
		男女の人権を尊重する意識を育むことが期待できる	
		現状と課題	啓発物等に男女共同参画都市宣言を掲載し、周知を行っている。
今後の取り組み	今後も、啓発物を配布する機会には、男女共同参画都市宣言を積極的に掲載していく。	1. 充実させる ②. 継 続 3. 見直し 4. 廃止 5. その他()	

事業名	5 男女共同参画に関する情報の提供	担当:地域推進課	達成度
今年度実施した取り組み	<p>・伊奈庁舎, 谷和原庁舎, 図書館, 公民館等の公共施設に, 国・県関係機関が作成した啓発資料やイベントチラシを設置した。また, 市HPおよびツイッターに掲載し, 周知を行った。</p> <p>・広報つくばみらい11月号, 3月号に, 男女共同参画に関する当市の取り組み等の記事を掲載し, 市民の関心を得られるよう努めた。</p> <p>・市HPや広報つくばみらい, ツイッターを活用して, 男女共同参画標語や女性人材登録, 有資格者社会復帰支援セミナー等に関する情報を発信した。</p>		<p>① 計画どおりに達成できた ② ほぼ計画通りに達成できた ③ 計画にほぼ及ばない ④ 計画にまったく及ばない ⑤ 実施しなかった</p> <p>効果</p> <p>男女の人権を尊重する意識を育むことが期待できる 自分の生き方を自分で決めることができる 性別による役割分担意識の解消ができる</p>
現状と課題	<p>広報つくばみらいや市HP, SNS等様々な方法で, 男女共同参画に関する情報の発信を行っている。</p>		<p>今後の方向</p>
今後の取り組み	<p>今後も, より多くの市民に男女共同参画を知ってもらえるよう, 様々な媒体で情報の発信を行っていく。</p>		<p>1. 充実させる ②. 継続 3. 見直し 4. 廃止 5. その他()</p>
事業名	6 市男女共同参画推進委員及び県男女共同参画推進員との連携による広報・啓発活動の実施	担当:地域推進課	達成度
今年度実施した取り組み	<p>・当市においては, 1名が茨城県より男女共同参画推進員として委嘱されている。市職員とともに, 県が主催した合同研修(意見交換)に参加し, 地域での推進活動が円滑に行われるよう, 情報の共有等図った。</p> <p>・以下の機会に, 市男女共同参画推進委員と連携し, 啓発活動を実施した。 みらいフェスタ 啓発ティッシュ 400個配布 カスミ谷井田店前 第2次男女共同参画計画概要版, 男女共同参画標語応募用紙, 啓発ティッシュ 150個配布</p>		<p>① 計画どおりに達成できた ② ほぼ計画通りに達成できた ③ 計画にほぼ及ばない ④ 計画にまったく及ばない ⑤ 実施しなかった</p> <p>効果</p> <p>男女の人権を尊重する意識を育むことが期待できる 自分の生き方を自分で決めることができる 性別による役割分担意識の解消ができる 地域社会や団体等で男女共にリーダーシップを発揮することができる</p>
現状と課題	<p>県推進委員, 市男女共同参画推進委員と連携しながら, 広報・啓発活動を行っている。</p>		<p>今後の方向</p>
今後の取り組み	<p>引き続き, 推進員, 推進委員と連携しながら, 広報・啓発活動を実施していく。</p>		<p>1. 充実させる ②. 継続 3. 見直し 4. 廃止 5. その他()</p>

2. 男女共同参画推進のための情報収集と提供

事業名	7 社会制度や慣行に関する調査・研究	担当:地域推進課	達成度
今年度実施した取り組み	・中学生出前講座の実施にあたり、中学生から、なりたい職業や男らしさ・女らしさについてのアンケートをとり、その結果を講座に活かした。また、実施後には、男女共同参画に対する意識が変わったかどうかアンケートをとった。		1 計画どおりに達成できた ② ほぼ計画通りに達成できた 3 計画にほぼ及ばない 4 計画にまったく及ばない 5 実施しなかった
			効果
現状と課題	毎年度中学生出前講座の実施にあたり、実施前・実施後にアンケートを実施している。		今後の方向
今後の取り組み	・思考が柔軟な若い世代を対象として、中学生出前講座を実施し、その効果を図っていく。		1. 充実させる ②. 継続 3. 見直し 4. 廃止 5. その他()

主要課題2. 男女共同参画を推進する教育・学習

1. 学校教育における男女平等の推進

事業名	8 教育活動全体を通じた人権教育の実施	担当:教育指導課	達成度
今年度実施した取り組み	人権教育全体計画及び人権教育推進計画全体の見直しを行い、各学校における人権教育の取り組み等に関する現状と課題を把握した。 児童生徒の発達段階に応じて学年別人権教育の目標を設定し、教育活動全体を通して人権教育の推進を図った。 夏季休業中に、アクティブコンピュータ社長の鈴木宏治氏を講師として招聘し、「今、聞いておかないと、きっと後悔するスマホの話」と題して、各種SNS等の使い方や投稿の危険性について講演を依頼し、人権が尊重される社会について理解を深めた。		① 計画どおりに達成できた 2 ほぼ計画通りに達成できた 3 計画にほぼ及ばない 4 計画にまったく及ばない 5 実施しなかった
			効果
現状と課題	教職員が参加者の大部分を占めているが、一般市民の参加についても今後どう進めていくか課題である。		今後の方向
今後の取り組み	様々な人権課題があるので、現状を十分に把握しながら、社会のニーズに応えられるような人権教育の推進を図る。		1. 充実させる ②. 継続 3. 見直し 4. 廃止 5. その他()

事業名	9 道徳教育を通じた男女平等教育の実施	担当:教育指導課	達成度
今年度実施した取り組み	<p>道徳の教科化(小学校平成30年度, 中学校平成31年度)に向け学習指導要領の内容項目が改善されたことを受け, 男女共同参画に関する内容も含め, 平成29年度中に道徳教育全体計画, 年間指導計画及び別葉の整備, 作成を行うよう各学校に指示すると共に, 研修会を実施し, 各中学校区ごとに研究協議を行った。</p> <p>各学校では, 「特別の教科 道徳」の男女共同参画にかかわる内容項目(「自主」「自律」「自由と責任」「友情」「信頼」「集団生活の充実」等)を中心に, 自分自身の生き方を見つめると共に, 人や社会との関わりについて, 係活動や当番活動, 学校行事等, 学校の教育活動全体で継続して指導している。特に, 小学校5年生以上については, 異性についての理解や男女平等に関する内容について道徳の時間において指導している。</p>	① 計画どおりに達成できた ② ほぼ計画通りに達成できた ③ 計画にほぼ及ばない ④ 計画にまったく及ばない ⑤ 実施しなかった	
		効果	
		男女の人権を尊重する意識を育むことが期待できる 男女がそれぞれ経済的, 社会的に自立できる社会ができる	
現状と課題	考え議論する道徳, 自分事として捉える事のできる授業の在り方について今後, 研修を充実することが重要である。		今後の方向
今後の取り組み	道徳の授業の在り方について研修を深め, 児童生徒の興味関心を高め, 道徳的価値を自覚できるような授業展開を図っていきたい。		1. 充実させる ②. 継続 3. 見直し 4. 廃止 5. その他()
事業名	10 教職員への平等教育の徹底	担当:教育指導課	達成度
今年度実施した取り組み	<p>人権尊重を基盤とした男女平等観の形成を図り, 男女共同参画についての理解の深化と促進に努めた。</p> <p>外国語(英語)の授業において, 国際理解教育の推進を図るとともに国や人権による偏見をなくすこと, 男女の平等についての意識を涵養している。</p> <p>係活動や当番活動など男女分け隔てなくバランスよくグループを組むなどの配慮をしている。</p>	1 計画どおりに達成できた ② ほぼ計画通りに達成できた 3 計画にほぼ及ばない 4 計画にまったく及ばない 5 実施しなかった	
		効果	
		性別による役割分担意識の解消ができる	
現状と課題	学校現場においては, 男女平等についての意識が浸透しているので今後とも男女平等教育に推進していくことが重要である。		今後の方向
今後の取り組み	これまでの取組を推進するとともに, LGBT等についての理解を促進していくことが重要である。		1. 充実させる ②. 継続 3. 見直し 4. 廃止 5. その他()

2. 家庭教育における教育支援

事業名	11 家庭科教育の充実	担当:教育指導課	達成度
今年度実施した取り組み	<p>小学校では、家族の一員として、生活をより良くしようと工夫する実践的な態度の育成に努めた。また、日常生活に必要な基礎的・基本的な知識及び技能を身に付けるための指導を行った。</p> <p>中学校では、生活や社会における課題解決に主体的に取り組む問題解決的な学習の充実を図り、生徒の思考を促す発問の工夫に努めた。</p>		<p>1 計画どおりに達成できた ② ほぼ計画通りに達成できた 3 計画にほぼ及ばない 4 計画にまったく及ばない 5 実施しなかった</p> <p>効果</p> <p>健康状態を正しく理解し健康管理を行うことで、健やかで安心した生活を送ることができる</p>
現状と課題	<p>身近な生活の課題を解決したり、家庭で実践したりするための指導の工夫と実践の記録を把握することが必要である。</p>		<p>今後の方向</p>
今後の取り組み	<p>新学習指導要領の全面实施に伴い、児童生徒や学校、地域の実態を考慮した年間指導計画の作成する必要がある。</p>		<p>1. 充実させる ②. 継続 3. 見直し 4. 廃止 5. その他()</p>
事業名	12 子育て・仲間づくりセミナーの実施	担当:生涯学習課	達成度
今年度実施した取り組み	<p>みらい親楽講座 開催日 (前期)平成30年5月25日(金)～平成30年7月12日(木)・(後期)平成30年11月9日(金)～平成30年12月20日(木) 前期8回・後期7回実施 事業概要 満1歳6ヶ月以上の未就園の子とその保育者を対象に子育て支援をする。 戸外に出て人と触れ合う場や友達作りの機会を提供することによって、保育者の育児に関する様々な悩みや情報を交換し、子育てが楽しく感じられるように支援する。</p>		<p>1 計画どおりに達成できた ② ほぼ計画通りに達成できた 3 計画にほぼ及ばない 4 計画にまったく及ばない 5 実施しなかった</p> <p>効果</p> <p>男女の人権を尊重する意識を育むことが期待できる 性別に関係なく、個人の個性・能力に応じた学習機会を提供できる 子どもを安心して生み育てる環境を整え、心身だけでなく経済的、社会的にも安心して生活することができる</p>
現状と課題	<p>子育てに追われ地域社会との接点が少なく、孤立しがちな状況を改善し、同じ年代の子を持つ親同士が仲間となり、子育てに関する情報を交換し、悩みを解決する場として有効であった。</p>		<p>今後の方向</p>
今後の取り組み	<p>今後もさまざまな講座を企画し、より多くの親子に参加してもらい、参加者が子育てに関する情報交換ができる場を提供していく。</p>		<p>1. 充実させる ②. 継続 3. 見直し 4. 廃止 5. その他()</p>

事業名	13 家庭教育学級の開催	担当:生涯学習課	達成度
今年度実施した取り組み	<p>市内19の幼稚園、小・中学校のうち、幼稚園4歳児・小学1年生・中学1年生の保護者1094名で構成している。</p> <p>各園・学校単位で学級を組織し、各々独自の活動を展開する。活動内容は、親子触れ合い学習・クラス親睦会・講演会・人権教育・移動教室・文集の作成等、学級ごとに工夫を凝らした活動を実施した。また、2月に合同閉級式・講演会を実施した。</p> <p>男女の性差なく活動に参加しやすい雰囲気を作るとともに、子供の教育には、家族が互いに尊重しあい、協働することの大切さを理解できる取組を推進した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭教育学級事業説明会(平成30年5月8日) ・人権講演会(平成30年8月2日) ・合同閉級式(平成31年2月15日) 		1 計画どおりに達成できた ② ほぼ計画通りに達成できた 3 計画にほぼ及ばない 4 計画にまったく及ばない 5 実施しなかった
			効果
			男女の人権を尊重する意識を育むことが期待できる 性別による役割分担意識の解消ができる 子どもを安心して生み育てる環境を整え、心身だけでなく経済的、社会的にも安心して生活することができる
現状と課題	19学級の中には、積極的に参加している学級とそうでない学級の差がある。		今後の方向
今後の取り組み	<p>核家族化及び地域における地縁的なつながりの希薄化により、家庭の教育力が低下していることから、子育てについて悩みを持つ親同士が交流し合い、発達段階に応じた家庭教育に関する学習機会を提供していくことで、家庭の教育力の向上を図る。</p> <p>すべての子どもたちにとって少しでも良い教育環境となるよう、また、親と子の心の絆がよりしっかり結ばれるよう、子と共に親も育っていく家庭「共育」を目指す。</p>		1. 充実させる ②. 継続 3. 見直し 4. 廃止 5. その他()

3. 社会教育における男女共同参画の推進

事業名	14 料理教室の実施	担当:地域推進課	達成度
今年度実施した取り組み	<p>・「どすこい！クッキング！パパといっしょにクッキング」の実施</p> <p>父親の子育て参加や、ワークライフバランス(仕事と家庭の調和)について考えてもらうきっかけ作りを目的に、小学生とその父親を対象に料理教室を実施した。12組の親子が参加し、立浪部屋力士を講師に、ちゃんこ鍋作りや、レクリエーションを楽しんだ。</p>		1 計画どおりに達成できた ② ほぼ計画通りに達成できた 3 計画にほぼ及ばない 4 計画にまったく及ばない 5 実施しなかった
			効果
			男女の人権を尊重する意識を育むことが期待できる 性別による役割分担意識の解消ができる 男女がそれぞれ経済的、社会的に自立できる社会ができる
現状と課題	「どすこい！クッキング！」の募集にあたり、市内全小学生に対するチラシの配布を行わなかった結果、募集が減ってしまったため、周知を強化する		今後の方向
今後の取り組み	市内小学生に対してチラシの配布を行い、イベントを十分に周知して継続した取組を行う。		1. 充実させる ②. 継続 3. 見直し 4. 廃止 5. その他()

事業名	15 各種講座の実施	担当:生涯学習課	達成度
今年度実施した取り組み	<p>生涯学習講座は、社会教育法に基づき成人者対象の公民館事業(講座)以外のものを主に実施した。</p> <p>わくわくチャレンジ講座は、小学1年生から中学3年生までを対象とし、異年齢の集団で体験活動を行い、自主的・協調性・忍耐力を高め、互いに助け合う心・思いやる心を育てた。</p> <p>親子講座は、保育者と子を対象とし、外に出て人と触れ合う場や友達作りの機会を提供し、子育てが楽しく感じられるよう支援した。成人講座は、成人を対象とし、自らを向上させるため、また人生を楽しむ一つのきっかけ作りとしての場を提供した。</p> <p>前期内容:わくわくチャレンジ講座(10回講座)・みらい親楽講座(8回講座)</p> <p>後期内容:わくわくチャレンジ講座(10回講座)・みらい親楽講座(7回講座)・ボランティア養成講座(2回講座)</p>		<p>1 計画どおりに達成できた</p> <p>② ほぼ計画通りに達成できた</p> <p>3 計画にほぼ及ばない</p> <p>4 計画にまったく及ばない</p> <p>5 実施しなかった</p>
			効果
			<p>男女の人権を尊重する意識を育むことが期待できる</p> <p>自分の生き方を自分で決めることができる</p> <p>性別に関係なく、個人の個性・能力に応じた学習機会を提供できる</p> <p>子どもを安心して生み育てる環境を整え、心身だけでなく経済的、社会的にも安心して生活することができる</p>
現状と課題	小中学生向け講座は年々、参加者が増加している。課題は、講座を受講できない児童生徒も多くなる点である。		今後の方向
今後の取り組み	今後も小中学生向け講座、親子向け講座をそれぞれのねらいにそって、実施していく。市民のニーズをとらえて、講座の内容を決定し、参加者数を増やし、満足度を上げていくようにする。		<p>1. 充実させる</p> <p>②. 継続</p> <p>3. 見直し</p> <p>4. 廃止</p> <p>5. その他()</p>

主要課題3. あらゆる暴力の根絶

1. DV防止と被害者への支援

事業名	16 DV防止に関する啓発活動の実施	担当:地域推進課	達成度
今年度実施した取り組み	<p>・11月号広報紙つくばみらいにて、あらゆる暴力の根絶に向けて、多様化する暴力の種類について紹介する記事を掲載した。また、各種相談窓口を掲載し、被害にあった場合には、相談するよう促した。</p> <p>・第2次男女共同参画計画概要版にて、DVの相談窓口を掲載している。</p>		<p>1 計画どおりに達成できた</p> <p>② ほぼ計画通りに達成できた</p> <p>3 計画にほぼ及ばない</p> <p>4 計画にまったく及ばない</p> <p>5 実施しなかった</p>
			効果
			<p>男女の人権を尊重する意識を育むことが期待できる</p> <p>自分の生き方を自分で決めることができる</p> <p>性別による役割分担意識の解消ができる</p> <p>男女がそれぞれ経済的、社会的に自立できる社会ができる</p>
現状と課題	被害者がDVを犯罪と認識せず相談に至らないケースや、なかなか相談に踏み出せないケースも多く、潜在化してしまいがちである。		今後の方向
今後の取り組み	定期的に広報つくばみらいや市HPにおいて、DVの概要について周知を行うとともに、相談を促す。		<p>1. 充実させる</p> <p>②. 継続</p> <p>3. 見直し</p> <p>4. 廃止</p> <p>5. その他()</p>

事業名	16 DV防止に関する啓発活動の実施	担当:こども課	達成度
今年度実施した取り組み	広報つくばみらい11月号にDVに関する啓発記事を掲載した。 国・県で作成した事業所・経営者のDV防止に関するパンフレット(相談窓口案内等)を庁舎等公共施設で配布している。		<ol style="list-style-type: none"> 1 計画どおりに達成できた ② ほぼ計画通りに達成できた 3 計画にほぼ及ばない 4 計画にまったく及ばない 5 実施しなかった 効果 男女の人権を尊重する意識を育むことが期待できる
現状と課題	事業所・経営者のDV被害はなかなか相談しにくいものであるため、継続的な相談窓口の周知・啓発が重要であるため今後とも同様の活動を実施していく必要がある。		今後の方向
今後の取り組み	広報による啓発記事の掲載 各イベントでのパンフレットの配布		<ol style="list-style-type: none"> 1. 充実させる ②. 継 続 3. 見直し 4. 廃止 5. その他()
事業名	17 相談体制の整備	担当:地域推進課	達成度
今年度実施した取り組み	・事業所・経営者のDVやハラスメント, その他家庭に関する悩みなどに対応できる「女性相談」の実施に向けて, 他市町村の設置状況を調査し, その結果を踏まえて調整を行った。		<ol style="list-style-type: none"> ① 計画どおりに達成できた 2 ほぼ計画通りに達成できた 3 計画にほぼ及ばない 4 計画にまったく及ばない 5 実施しなかった 効果 自分の生き方を自分で決めることができる 男女がそれぞれ経済的, 社会的に自立できる社会ができる
現状と課題	新たな事業であるため, 様々な手段で, 市民に周知していく必要がある。		今後の方向
今後の取り組み	広報つくばみらいや市HPの活用, 市内スーパー等へのチラシの設置を行い, 相談窓口の周知を行っていく。		<ol style="list-style-type: none"> ①. 充実させる 2. 継 続 3. 見直し 4. 廃止 5. その他()

事業名	17 相談体制の整備	担当:こども課	達成度
今年度実施した取り組み	<p>広報つくばみらいに相談先の情報提供を行うとともに、市HPに掲載している。 婦人相談員の配置がないため、保健師、母子・父子自立支援員が対応しているが、相談及び対応は適切に実施されている。 婦人相談所、警察署との連携も密に実施している。</p> <p>【DV相談件数】 相談件数推移(相談人数/相談回数) 平成20年度:2人/11回, 平成21年度:10人/20件, 平成22年度:5人/11件, 平成23年度:13人/136件, 平成24年度:16人/187件, 平成25年度:13人/124件, 平成26年度:7人/44件, 平成27年度:10人/85件, 平成28年度:10人/44件, 平成29年度:13人/39件, 平成30年度:17人/33件</p>		1 計画どおりに達成できた ② ほぼ計画通りに達成できた 3 計画にほぼ及ばない 4 計画にまったく及ばない 5 実施しなかった
			効果
			自分の生き方を自分で決めることができる
現状と課題	相談件数は増加傾向にある。専門職員がいない。		今後の方向
今後の取り組み	身近な場所での相談機関があることで、相談しやすい環境となる。相談先について広報、HP等で周知していく。 相談員のスキルアップのため、研修会等に積極的に参加する。		1. 充実させる ②. 継続 3. 見直し 4. 廃止 5. その他()
事業名	18 相談員のスキルアップ	担当:こども課	達成度
今年度実施した取り組み	茨城県福祉相談センター主催の、女性相談員等勉強会に2回出席し自己啓発に努めた。		1 計画どおりに達成できた ② ほぼ計画通りに達成できた 3 計画にほぼ及ばない 4 計画にまったく及ばない 5 実施しなかった
			効果
			男女の人権を尊重する意識を育むことが期待できる
現状と課題	相談内容がDVのみならず複雑化しているケースがある。関係機関との連携が重要となっている。		今後の方向
今後の取り組み	環境整備とともに、相談者のスキルアップも重要であることから、事例を通してのみならず、研修会などに積極的に参加し、事業所・経営者のDVに関する基礎知識及び対応方法、関係機関との連携方法について知識を深めていく必要がある。		1. 充実させる ②. 継続 3. 見直し 4. 廃止 5. その他()

事業名	19 被害者の住民票及び戸籍の附票の交付制限	担当:市民窓口課	達成度
今年度実施した取り組み	<p>・住民基本台帳事務におけるDV及びストーカー行為等, 児童虐待及びこれらに準ずる被害者保護の支援措置を, 被害者からの申出により実施。申出者は, 警察等の相談機関に相談の上で申出を行い, 市民窓口課は, 住民基本台帳の閲覧制限, 住民票(除住民票)の交付制限, 本籍(前本籍)の戸籍の附票の交付制限を実施する。</p> <p>・加害者によるなりすまし等の申請を防止し, 関係各機関及び関係各課と連携しながら被害者の住所を加害者に知られることのないよう保護している。加害者からの請求については, 「不当な目的」(住民基本台帳法第12条及び第20条)があるもの又は同法第11条の2に掲げる活動に該当しないものとし, 交付も閲覧も制限している。第三者からの請求については, 加害者のなりすましによる請求に注意し, 顔写真付きの公的身分証明書の提示を求めるなど, より厳格な確認を行っている。</p> <p>・平成30年度支援措置件数 42件(男性からの申出8件, 女性からの申出34件) 内訳 A:配偶者暴力防止法に基づく支援措置16件(新規8件/延長8件) B:ストーカー規制法に基づく支援措置6件(新規1件/延長5件) C:児童虐待防止法に基づく支援措置0件(新規0件/延長0件) D:A~Cに準ずるケースの支援措置20件(新規5件/15件)</p>	① 計画どおりに達成できた ② ほぼ計画通りに達成できた ③ 計画にほぼ及ばない ④ 計画にまったく及ばない ⑤ 実施しなかった	効果
			その他
			今後の方向
現状と課題	実施にあたり, 外部の相談機関への照会等が必要なため事務処理に時間を要するが, 交付制限については, データの仮止め処理を行い対応している。		今後の方向
今後の取り組み	引き続き, 関係各機関及び関係各課と連携しながら, 迅速で確実な処理を実施する。また被害者の住所が加害者に知られないよう, なりすましや不当目的の申請に注意し, 厳格な審査を実施する。		1. 充実させる ②. 継続 3. 見直し 4. 廃止 5. その他()

2. あらゆるハラスメントの防止

事業名	20 各種ハラスメント防止対策の推進	担当:地域推進課	達成度
今年度実施した取り組み	<p>・男女共同参画推進月間である11月に, セクシュアル・ハラスメントに関するポスターの掲示を行った。</p>	1 計画どおりに達成できた ② ほぼ計画通りに達成できた 3 計画にほぼ及ばない 4 計画にまったく及ばない 5 実施しなかった	効果
			性別による役割分担意識の解消ができる 事業所・経営者の男女平等意識の向上が期待できる
			今後の方向
現状と課題	ハラスメントは多様化しており, 周知を行うとともに, 相談窓口や再発防止に向けて何を行うべきか周知していく必要がある。		今後の方向
今後の取り組み	国等のハラスメント防止に関するマニュアルを研究し, 市民や事業所への啓発方法を検討する。		①. 充実させる 2. 継続 3. 見直し 4. 廃止 5. その他()

事業名	21 ハラスメント相談体制の整備	担当:地域推進課	達成度
今年度実施した取り組み	・DVやハラスメント, その他家庭に関する悩みなどに対応できる「女性相談」の実施に向けて, 他市町村の設置状況を調査し, その結果を踏まえて調整を行った。		1 計画どおりに達成できた ② ほぼ計画通りに達成できた 3 計画にほぼ及ばない 4 計画にまったく及ばない 5 実施しなかった
			効果
現状と課題	新たな事業であるため, 広報つくばみらい等活用し, 市民に周知していく必要がある。		今後の方向
今後の取り組み	広報つくばみらいや市HPを活用して事業の周知を行う。		①. 充実させる 2. 継続 3. 見直し 4. 廃止 5. その他()

3. メディアにおける人権の尊重

事業名	22 人権を尊重した表現の推進に向けた啓発	担当:地域推進課	達成度
今年度実施した取り組み	今年度は, 庁内における人権を尊重した表現の推進にとどまり, 庁外に対する啓発は実施しなかった。		1 計画どおりに達成できた 2 ほぼ計画通りに達成できた 3 計画にほぼ及ばない 4 計画にまったく及ばない ⑤ 実施しなかった
			効果
現状と課題	対外的な啓発までには至っていない。		今後の方向
今後の取り組み	・他市町村の啓発事例を研究し, 効果的な啓発方法について検討していく。		①. 充実させる 2. 継続 3. 見直し 4. 廃止 5. その他()

事業名	23 人権を尊重した表現の推進	担当:地域推進課	達成度
今年度実施した取り組み	<p>・平成23年度に作成した「男女共同参画の視点に立った公的広報における表現に関するガイドライン」を一部改訂し、男女の人権を尊重した適切な表現を行うよう周知した。</p>	① 計画どおりに達成できた ② ほぼ計画通りに達成できた ③ 計画にほぼ及ばない ④ 計画にまったく及ばない ⑤ 実施しなかった	効果
		男女の人権を尊重する意識を育むことが期待できる 性別による役割分担意識の解消ができる	
		現状と課題	職員が、男女共同参画の視点に立った表現を行うことができるよう、意識づけを行う必要がある。
今後の取り組み	<p>・庁内掲示板にて、ガイドラインを定期的に掲載し、適切な表現を行うよう促す。</p>	1. 充実させる ②. 継 続 3. 見直し 4. 廃止 5. その他()	
事業名	23 人権を尊重した表現の推進	担当:秘書広報課	達成度
今年度実施した取り組み	<p>広報つくばみらい上の表現において、子育て支援関連情報の記事中に、パパ・ママと並列表記を行うなど、男女共同参画の考えに則した観点の下、編集・制作を行った。</p>	1 計画どおりに達成できた ② ほぼ計画通りに達成できた 3 計画にほぼ及ばない 4 計画にまったく及ばない 5 実施しなかった	効果
		男女の人権を尊重する意識を育むことが期待できる 性別による役割分担意識の解消ができる	
		現状と課題	男女共同参画の視点に立った表現を浸透させていくことが大切である。
今後の取り組み	<p>今後も継続して、男女共同参画の考えに則した表現を使っていく。</p>	1. 充実させる ②. 継 続 3. 見直し 4. 廃止 5. その他()	

事業名	24 情報活用能力の育成と情報モラル教育の実施	担当:産業経済課	達成度
今年度実施した取り組み	<p>・インターネットのトラブルや注意点について、消費生活センターの出前講座を実施した。</p> <p>・以下、消費生活センターによる情報モラルに関する出前講座実施一覧</p> <p>1内 容「ケータイ・ネット安全教室、子どもとケータイ・インターネット」 実施日:平成30年6月28日 対象:小絹小学校 児童, 教諭, 保護者 144名</p> <p>2内 容「携帯電話の安全な使い方」 実施日:平成30年7月19日 対象:伊奈中学校1年生, 教諭 88名</p>		1 計画どおりに達成できた ② ほぼ計画通りに達成できた 3 計画にほぼ及ばない 4 計画にまったく及ばない 5 実施しなかった
			効果
			子どもを安心して生み育てる環境を整え、心身だけでなく経済的、社会的にも安心して生活することができる
現状と課題	若年層がインターネットを活用する機会は年々増加しており、情報活用能力の育成は今後も求められる。		今後の方向
今後の取り組み	消費生活センターによる出前講座を活用するよう、各学校に働きかけていく。		1. 充実させる ②. 継続 3. 見直し 4. 廃止 5. その他()

事業名	24 情報活用能力の育成と情報モラル教育の実施	担当:教育指導課	達成度
今年度実施した取り組み	<p>小学校段階におけるプログラミング教育の理解と指導力の向上のために研修会を実施した。学習に対する興味・関心・理解を促し、個に応じた学習を支援するための教科指導におけるICT活用を図った。具体的には、デジタル教科書の活用、インターネットを活用した動画、情報検索等を実施した。</p> <p>情報社会で、適正に活動するための基礎となる考え方や態度の育成について、情報モラル教育の充実を図った。</p> <p>各家庭には、スマホの使い方についての啓発のための資料を配付した。</p> <p>スマホの使いすぎによる健康被害についての指導を行った。</p>		1 計画どおりに達成できた ② ほぼ計画通りに達成できた 3 計画にほぼ及ばない 4 計画にまったく及ばない 5 実施しなかった
			効果
			健康状態を正しく理解し健康管理を行うことで、健やかで安心した生活を送ることができる
現状と課題	スマホの所有率は年々上がっているが、スマホの使い方等についての各家庭での約束等が十分に決められていないことがあげられる。		今後の方向
今後の取り組み	小学校における「プログラミング教育」の充実を図るために教師の理解と研修の充実を図ることが重要である。 プログラミング学習の一貫として、標準規模の小学校にロボットを制御するためのプログラミング学習を試験的に実践する予定である。 様々な情報手段を適切かつ主体的、積極的に活用できるようにするための学習活動の充実を図る。 情報モラルについての更なる指導の充実を図る。		1. 充実させる ②. 継続 3. 見直し 4. 廃止 5. その他()

主要課題1. 家庭と仕事の両立支援 1. ワーク・ライフ・バランスの推進に向けた普及・啓発

事業名	25 家庭生活の責任分担に関する啓発の推進	担当:地域推進課	達成度
<p>今年度実施した取り組み</p>	<p>中学生出前講座の中で、家族の協力が大切であることを説明した。そのうえで、それぞれの立場を理解し、家族みんなが自分にできることをして助け合うことが重要であることを訴えた。(生徒総数:370人)</p> <p>「どすこい!クッキング!パパといっしょにクッキング」の実施により、父親の子育て参画や、ワークライフバランス(仕事と家庭の調和)について考えてもらう機会を作った。(12組の父子が参加)</p>		<p>① 計画どおりに達成できた ② ほぼ計画通りに達成できた ③ 計画にほぼ及ばない ④ 計画にまったく及ばない ⑤ 実施しなかった</p> <p>効果</p> <p>男女の人権を尊重する意識を育むことが期待できる 性別による役割分担意識の解消ができる 男女がそれぞれ経済的、社会的に自立できる社会ができる</p>
<p>現状と課題</p>	<p>若い世代に向けて、男女が共に家庭生活において責任を果たす重要性について啓発している。</p>		<p>今後の方向</p>
<p>今後の取り組み</p>	<p>実施後のアンケートから、事業の有効性がうかがえるため、今後も継続して実施する。</p>		<p>1. 充実させる ②. 継続 3. 見直し 4. 廃止 5. その他()</p>
事業名	26 両親学級の実施	担当:健康増進課	達成度
<p>今年度実施した取り組み</p>	<p>子育てについて夫婦で考えるきっかけ作りの場を提供することを目的に「パパママ教室」を実施した。</p> <p>・実施回数 6回/年 ・参加者 74組(148名)</p>		<p>① 計画どおりに達成できた ② ほぼ計画通りに達成できた ③ 計画にほぼ及ばない ④ 計画にまったく及ばない ⑤ 実施しなかった</p> <p>効果</p> <p>男女の人権を尊重する意識を育むことが期待できる 性別による役割分担意識の解消ができる 子どもを安心して生み育てる環境を整え、心身だけでなく経済的、社会的にも安心して生活することができる</p>
<p>現状と課題</p>	<p>妊娠中から夫婦で協力し、準備を行いながら、子育てについて考えるきっかけになる教室を実施した。</p>		<p>今後の方向</p>
<p>今後の取り組み</p>	<p>引き続き、参加者のニーズに目を向け、教室の内容の見直しを図っていく。</p>		<p>1. 充実させる ②. 継続 3. 見直し 4. 廃止 5. その他()</p>

事業名	14再 料理教室の実施	担当:地域推進課	達成度
今年度実施した取り組み	<p>・「どすこい！クッキング！パパといっしょにクッキング」の実施 父親の子育て参加や、ワークライフバランス(仕事と家庭の調和)について考えてもらうきっかけ作りを目的に、小学生とその父親を対象に料理教室を実施した。12組の親子が参加し、立浪部屋力士を講師に、ちゃんこ鍋作りや、レクリエーションを楽しんだ。</p>		<p>1 計画どおりに達成できた ② ほぼ計画通りに達成できた 3 計画にほぼ及ばない 4 計画にまったく及ばない 5 実施しなかった</p> <p>効果</p> <p>男女の人権を尊重する意識を育むことが期待できる 性別による役割分担意識の解消ができる 男女がそれぞれ経済的、社会的に自立できる社会ができる</p>
現状と課題	「どすこい！クッキング！」の募集にあたり、市内全小学生に対するチラシの配布を行わなかった結果、募集が減ってしまった。		今後の方向
今後の取り組み	市内小学生に対してチラシの配布を行い、イベントを十分に周知する。		<p>①. 充実させる 2. 継続 3. 見直し 4. 廃止 5. その他()</p>

2. 市内事業所等との連携によるワーク・ライフ・バランスの推進

事業名	27 男女共同参画に関する事業所調査の定期的な実施	担当:地域推進課	達成度
今年度実施した取り組み	<p>下記のとおり、男女共同参画に関する市内事業所調査を実施した。 1 目的 市内事業所調査を定期的実施し、男女共同参画に係る取り組みやその進捗状況を明らかにすることにより、今後の施策の展開にいかす。 2 期間 平成31年1月28日(月)～平成31年2月22日(金) 3 対象 市民サポート課にて抽出した事業所150ヶ所 4 方法 封筒にて郵送し、返信用封筒にて無記名で返信 5 回収率 44.6% 67事業所回答(昨年度 32.0% 48事業所回答) 6 調査項目・事業所の概要について・計画策定について・ワーク・ライフ・バランスに関する取組について</p>		<p>① 計画どおりに達成できた 2 ほぼ計画通りに達成できた 3 計画にほぼ及ばない 4 計画にまったく及ばない 5 実施しなかった</p> <p>効果</p> <p>男女の人権を尊重する意識を育むことが期待できる 性別による役割分担意識の解消ができる 事業所・経営者の男女平等意識の向上が期待できる 子どもを安心して生み育てる環境を整え、心身だけでなく経済的、社会的にも安心して生活することができる</p>
現状と課題	次世代育成支援対策推進法・女性活躍推進法による「一般事業主行動計画」を策定している事業所が少ない。 また、育児休業等の制度が整備されていない事業所が多い。		今後の方向
今後の取り組み	男女共同参画の推進に向けて、定期的な調査を行い、現状を把握する。		<p>1. 充実させる ②. 継続 3. 見直し 4. 廃止 5. その他()</p>

事業名	28 事業所等における育児・介護休業制度の導入促進	担当:地域推進課	達成度
今年度実施した取り組み	<p>・市内各事業者に対しては、茨城労働局などから育児・介護休業制度に関する周知が図られている。市としては、国・県で作成したパンフレット等を活用して、啓発を図った。</p> <p>・市HPにおける、「育児・介護休業法に関するお知らせ」というページにて、事業者や育児・介護休業法を取得する予定の方に対して法・制度を周知している。</p>		<p>① 計画どおりに達成できた ② ほぼ計画通りに達成できた ③ 計画にほぼ及ばない ④ 計画にまったく及ばない ⑤ 実施しなかった</p> <p>効果</p> <p>男女の人権を尊重する意識を育むことが期待できる 性別による役割分担意識の解消ができる 事業所・経営者の男女平等意識の向上が期待できる 子どもを安心して生み育てる環境を整え、心身だけでなく経済的、社会的にも安心して生活することができる</p>
現状と課題	国や県が作成したパンフレットや、市HPにおいて、周知および取り組みの促進を図っている。		今後の方向
今後の取り組み	今後も、事業者や、育児・介護休業法を取得予定の方にとって、分かりやすい情報発信に努める。		<p>1. 充実させる ②. 継続 3. 見直し 4. 廃止 5. その他()</p>

事業名	28 事業所等における育児・介護休業制度の導入促進	担当:産業経済課	達成度
今年度実施した取り組み	<p>国・県が作成した「育児・介護休業制度」に関するリーフレット等を当課窓口や庁内ラックに設置し、啓発した。 商工会等を通じ、市内事業者へ制度の周知に努めた。</p>		<p>1 計画どおりに達成できた ② ほぼ計画通りに達成できた ③ 計画にほぼ及ばない ④ 計画にまったく及ばない ⑤ 実施しなかった</p> <p>効果</p> <p>男女の人権を尊重する意識を育むことが期待できる 自分の生き方を自分で決めることができる 性別による役割分担意識の解消ができる 事業所・経営者の男女平等意識の向上が期待できる 男女がそれぞれ経済的、社会的に自立できる社会ができる</p>
現状と課題	事業所に対して直接的にパンフレット等を配布しているわけではない。		今後の方向
今後の取り組み	引き続き、本年同様の取り組みを実施する。		<p>1. 充実させる ②. 継続 3. 見直し 4. 廃止 5. その他()</p>

事業名	29 一般事業主行動計画に関する啓発	担当:地域推進課	達成度
今年度実施した取り組み	<p>・厚生労働省が実施している「女性活躍推進アドバイザー」事業に関するチラシを市内事業所に送付し、活用を促した。</p> <p>※女性活躍推進アドバイザー・・・女性活躍を推進するにあたり、課題分析、一般事業主行動計画の策定方法、社内への通知や各都道府県労働局への届け出についてなど説明する。</p>		<p>① 計画どおりに達成できた ② ほぼ計画通りに達成できた ③ 計画にほぼ及ばない ④ 計画にまったく及ばない ⑤ 実施しなかった</p> <p style="text-align: center;">効果</p> <p>性別による役割分担意識の解消ができる 事業所・経営者の男女平等意識の向上が期待できる 男女がそれぞれ経済的、社会的に自立できる社会ができる</p>
現状と課題	<p>従業員300人以下の中小企業は、一般事業主行動計画の策定・届け出が努力義務となっており、女性活躍の重要性を理解してもらい、取り組みを進めていただく必要がある。</p>		<p style="text-align: center;">今後の方向</p>
今後の取り組み	<p>厚生労働省等の制度を利用して、策定を検討してもらえるよう、働きかけを行っていく。</p>		<p>1. 充実させる ②. 継続 3. 見直し 4. 廃止 5. その他()</p>

事業名	30 イクボス育成への啓発	担当:地域推進課	達成度
今年度実施した取り組み	<p>・市HPIにおいて、厚生労働省が実施している「イクメンプロジェクト」をリンクし紹介している。</p> <p>・市男女共同参画推進月間である11月に、図書館で啓発コーナーを設置し、イクメンや男性の家事に関する本を紹介した。</p> <p>※イクボス・・・職場で共に働く部下・スタッフのワークライフバランス(仕事と生活の両立)を考え、部下のキャリアと人生を応援しながら、組織の業績も結果を出しつつ、自らも仕事と私生活を楽しむことができる上司(経営者・管理職)</p>		<p>① 計画どおりに達成できた ② ほぼ計画通りに達成できた ③ 計画にほぼ及ばない ④ 計画にまったく及ばない ⑤ 実施しなかった</p> <p style="text-align: center;">効果</p> <p>性別による役割分担意識の解消ができる 事業所・経営者の男女平等意識の向上が期待できる 子どもを安心して生み育てる環境を整え、心身だけでなく経済的、社会的にも安心して生活することができる</p>
現状と課題	<p>イクメンを増やしていくためには、経営者や管理職の意識を変えていく必要がある。</p>		<p style="text-align: center;">今後の方向</p>
今後の取り組み	<p>事業所にチラシやリーフレットを送付するなど、経営者や管理職に対する働きかけを検討していく。</p>		<p>①. 充実させる 2. 継続 3. 見直し 4. 廃止 5. その他()</p>

3. 子育て家庭への支援の充実

事業名	31 子育て情報の提供	担当:こども課	達成度
<p>今年度実施した取り組み</p>	<p>子育て支援室イベント情報等を、広報つくばみらいに毎月掲載した。 みらいっこ通信を各子育て支援室、健康増進課窓口等で毎月配布した。 ママフレへの子育て情報を掲載(手軽に子育ての情報が得られる)した。 冊子こんにちは赤ちゃんを作成・配布し、子育てに関する情報提供(母子健康手帳交付時、各子育て支援室での配布)を行った。</p> <p>※ママフレ…子育てに関する行政サービスを紹介するサイト</p>		<p>1 計画どおりに達成できた ② ほぼ計画通りに達成できた 3 計画にほぼ及ばない 4 計画にまったく及ばない 5 実施しなかった</p> <p>効果</p> <p>子どもを安心して生み育てる環境を整え、心身だけでなく経済的、社会的にも安心して生活することができる</p>
<p>現状と課題</p>	<p>インターネット上では様々な育児情報が氾濫する中、正確な育児情報などが得にくい。</p>		<p>今後の方向</p>
<p>今後の取り組み</p>	<p>今後もイベント情報などを広報つくばみらい、みらいっこ通信などで積極的に育児情報等を周知していく。 ママフレ、冊子こんにちは赤ちゃんの内容について定期的な見直しを実施する。</p>		<p>1. 充実させる ②. 継続 3. 見直し 4. 廃止 5. その他()</p>

事業名	31 子育て情報の提供	担当:健康増進課	達成度
<p>今年度実施した取り組み</p>	<p>母子保健事業に関する事業や予防接種について市HPで掲載した。</p>		<p>① 計画どおりに達成できた 2 ほぼ計画通りに達成できた 3 計画にほぼ及ばない 4 計画にまったく及ばない 5 実施しなかった</p> <p>効果</p> <p>男女の人権を尊重する意識を育むことが期待できる 自分の生き方を自分で決めることができる 男女がそれぞれ経済的、社会的に自立できる社会ができる 性別に関係なく、個人の個性・能力に応じた学習機会を提供できる 子どもを安心して生み育てる環境を整え、心身だけでなく、経済的、社会的にも安心して生活することができる 健康状態を正しく理解し健康管理を行うことで、健やかに安心して生活を送ることができる</p>
<p>現状と課題</p>	<p>年度の初めに全事業を見直し事業の案内を掲載している。</p>		<p>今後の方向</p>
<p>今後の取り組み</p>	<p>掲載内容や掲載方法について、利用者がよりわかりやすいように改善をしていく。</p>		<p>1. 充実させる ②. 継続 3. 見直し 4. 廃止 5. その他()</p>

事業名	32 安心で安全な環境の整備	担当:こども課	達成度
今年度実施した取り組み	<ul style="list-style-type: none"> 市内公立保育所において、例年どおり消防設備点検、厨房害虫駆除、冷暖房設備点検、清掃業務、警備業務を委託し、設備等の環境維持に努めた。 伊奈第1保育所において、敷地内に設置されていた遊具(土管)を危険と判断し、撤去工事を行った。 公私連携施設である、「ふれあい第2保育園」のトイレ改修及び「ふれあい第2保育園」の裏門の門扉を改修した。 年1回実施する監査による指導のほか、電話連絡等により情報共有を図り、随時訪問指導等を実施した。 市内民間保育施設については、運営費として委託費または施設型給付費を的確に支払い、安心・安全な保育環境の維持・向上に寄与した。 児童の受け入れについては、毎月保育士の配置状況の確認を徹底し、配置基準を順守した保育の利用調整を行った。 		1 計画どおりに達成できた ② ほぼ計画通りに達成できた 3 計画にほぼ及ばない 4 計画にまったく及ばない 5 実施しなかった
現状と課題	公私連携施設(ふれあい第1保育園、第2保育園)の耐震改修が未実施であり、改修方法及び経費負担等について、連携先の市社会福祉協議会と協議を進め、改修計画を具体化させる必要がある。また、伊奈第1・第2、谷和原第1の調理室について、衛生面及びアレルギー対応に適していない環境があり、改善・工夫が必要である。		効果
今後の取り組み	公私連携施設の耐震化について、改修計画を策定し、適正に耐震改修を実施する。例年どおり点検業務等を委託し、設備等の環境維持に努める。あわせて、監査や訪問等により指導を行い、改修等による改善が必要な場合には、計画的に取り組んでいく。		① 充実させる 2. 継続 3. 見直し 4. 廃止 5. その他()

事業名	32 安心で安全な環境の整備	担当:学校総務課	達成度
今年度実施した取り組み	各小中学校から施設の修繕要望に対して予算化し、修繕工事を実施した。また、直営で対応できる修繕については、予算化せず職員で対応した。 <ul style="list-style-type: none"> 小学校工事費 77件 予算額16,668,000円 執行額16,663,055円 中学校工事費 47件 予算額19,571,000円 執行額19,569,841円 直営工事 25件 		① 計画どおりに達成できた 2 ほぼ計画通りに達成できた 3 計画にほぼ及ばない 4 計画にまったく及ばない 5 実施しなかった
現状と課題	全16校の内14校については、老朽化しており今後も修繕箇所が増加していく恐れがある。		効果
今後の取り組み	各小中学校の修繕要望について、一箇所でも多く対応し、児童及び生徒の安全を図っていく。		1. 充実させる ②. 継続 3. 見直し 4. 廃止 5. その他()

事業名	33 延長保育・一時預かりの充実	担当:こども課	達成度
今年度実施した取り組み	<p>①延長保育:市内のすべての認可保育施設(公立保育所, 私立保育園, 私立認定こども園, 私立地域型保育施設 計20施設)において, 通常の開所時間を越えた延長保育を実施した。</p> <p>②一時預かり:市内の認可保育施設のうち, 10施設で実施した。(利用延べ人数:2, 231人 最大開所日数:292日)</p>		<p>1 計画どおりに達成できた 2 ほぼ計画通りに達成できた 3 計画にほぼ及ばない 4 計画にまったく及ばない 5 実施しなかった</p> <p>効果</p> <p>自分の生き方を自分で決めることができる 性別による役割分担意識の解消ができる 事業所・経営者の男女平等意識の向上が期待できる 男女がそれぞれ経済的, 社会的に自立できる社会ができる, 性別に関係なく, 個人の個性・能力に応じた学習機会を提供できる 子どもを安心して生み育てる環境を整え, 心身だけでなく, 経済的, 社会的にも安心して生活することができる</p>
現状と課題	<p>・延長保育については, 働き方の多様性から, 今後, 延長保育時間の柔軟な対応が求められることが想定される。一時預かりについては, 待機児童となっているがゆえに一時預かりを利用せざるを得ない保護者も見受けられる。いずれの事業においても, 通常保育の保育士の確保ですら困難な施設もあり, 現行の保育施設における事業拡大は難しい。</p>		今後の方向
今後の取り組み	<p>一時預かり利用の背景には, 冠婚葬祭やリフレッシュなど, 本来の一時的な利用のほか, 保育施設に入所できず待機児童となっている場合に利用している場合がみられることから, 保育施設へ入所できるよう, 保育施設の整備や保育士確保が必要であり, 本来の一時保育利用の需要がどの程度かを検証する必要がある。</p>		<p>1. 充実させる 2. 継続 3. 見直し 4. 廃止 5. その他()</p>
事業名	34 放課後子ども総合プランの推進	担当:生涯学習課	達成度
今年度実施した取り組み	<p>・平成30年4月の富士見ヶ丘小学校開校に併せ, 富士見ヶ丘小児童クラブ及び放課後子ども教室を新設した。</p> <p>・すべての児童クラブと子ども教室で民間による運営を行い, サービスの充実を図った。</p> <p>・子ども教室と児童クラブが連携して一体的に事業を展開できるよう, 学校, 子ども教室, 児童クラブの関係者が一堂に会し, 小学校区ごとに運営会議を開催した。</p>		<p>① 計画どおりに達成できた 2 ほぼ計画通りに達成できた 3 計画にほぼ及ばない 4 計画にまったく及ばない 5 実施しなかった</p> <p>効果</p> <p>性別に関係なく, 個人の個性・能力に応じた学習機会を提供できる 子どもを安心して生み育てる環境を整え, 心身だけでなく, 経済的, 社会的にも安心して生活することができる</p>
現状と課題	<p>増加するみらい平地区の児童に対応するため, 陽光台小児童クラブの定員を増やして対応した。今後も増加が見込まれるため, 受け入れ体制の確保が必要となる。</p>		今後の方向
今後の取り組み	<p>みらい平地区の児童の増加に対する対応策を検討し, 放課後の安心安全な居場所づくりを行い, 安定的な保育サービスの提供を図る。</p>		<p>1. 充実させる 2. 継続 3. 見直し 4. 廃止 5. その他()</p>

事業名	35 子育て支援事業の充実	担当:健康増進課	達成度
今年度実施した取り組み	<p>育児技術の習得と保護者同士の交流を図ることにより育児孤立化を防ぐことを目的として「はぐはぐ教室」を実施した。</p> <p>また、家庭訪問や施設で助産師等の専門家による支援を提供することで、育児不安が軽減できることを目的に「産後ケア事業」を実施した。</p> <p>・はぐはぐ教室 実施回数:12回 延べ参加者:220名 ・産後ケア事業 通所型-延べ利用者:47名 訪問型-延べ利用者:85名</p>		<p>1 計画どおりに達成できた ② ほぼ計画通りに達成できた 3 計画にほぼ及ばない 4 計画にまったく及ばない 5 実施しなかった</p> <p>効果</p> <p>自分の生き方を自分で決めることができる 子どもを安心して生み育てる環境を整え、心身だけでなく経済的、社会的にも安心して生活することができる 性別に関係なく、個人の個性・能力に応じた学習機会を提供できる 健康状態を正しく理解し健康管理を行うことで、健やかで安心した生活を送ることができる</p>
現状と課題	<p>教室では、参加者間の交流については非常に満足度が高い。その他の内容については参加者のニーズを把握しながら検討していく。産後ケア事業については宿泊型の導入について検討していく必要がある。</p>		<p>今後の方向</p>
今後の取り組み	<p>はぐはぐ教室は、引き続き参加者の満足が得られるよう内容を検討する。産後ケア事業は近隣市町村の実施内容について情報収集を行い、宿泊型の導入について検討していく。</p>		<p>1. 充実させる ②. 継続 3. 見直し 4. 廃止 5. その他()</p>
事業名	36 ファミリーサポートセンター事業の充実	担当:こども課	達成度
今年度実施した取り組み	<p>女性の就労形態の変化に伴い、地域の育児に関する相互援助活動を実施し、安心して子どもを生み健やかに育てることができる環境づくりを実現するための事業である。子育て家庭の日常生活上の負担を少しでも軽くするため、☞助け合いの心☞を持った地域の人々の協力により行う、会員方式の有料の福祉サービスである。</p> <p>○事業時間⇒7:00～20:00(12月29日～1月3日は休み) ○会員状況⇒利用会員:147人(前年度末対比20人増)小学生までの子を持つ保護者で、育児の援助を受けたい方 協力会員:37人(前年度末対比3人減)保育知識及び育児経験のある方で育児の援助等のサービス(子育て)をしてくれる方 ○会員育成⇒会員を対象とした研修会を毎年実施 ○実績⇒派遣回数(延):616回(前年度末対比59回減)、活動時間(延):985時間(前年度末対比46時間増)</p>		<p>1 計画どおりに達成できた ② ほぼ計画通りに達成できた 3 計画にほぼ及ばない 4 計画にまったく及ばない 5 実施しなかった</p> <p>効果</p> <p>子どもを安心して生み育てる環境を整え、心身だけでなく経済的、社会的にも安心して生活することができる</p>
現状と課題	<p>派遣回数は減少しているが、活動時間は増加している。協力会員1人に係る負担が増加している。協力会員数が年々減少傾向及び高齢化している。協力会員を希望する方がいない。</p>		<p>今後の方向</p>
今後の取り組み	<p>社会福祉協議会と協働しながら、協力会員を増やしていくための周知活動を実施していく。協力会員の資質向上のための研修会を継続して実施していく。</p>		<p>1. 充実させる ②. 継続 3. 見直し 4. 廃止 5. その他()</p>

事業名	37 子育て相談の充実	担当:こども課	達成度
今年度実施した取り組み	○家庭児童相談室の設置 相談員⇒家庭児童相談員1人, 母子・父子自立支援員1人, 保健師1人 ○相談の対応方法 ・休日の虐待の相談対応⇒いばらき虐待ホットラインの紹介 ・連絡体制⇒状況を確認後, 土浦児童相談所と連絡を取り合い対応を協議 ○相談内容 ・家庭児童相談(不登校・育児・発達)⇒児童数29人 ・虐待相談(新規受理分)⇒ネグレクト27人, 身体的虐待12人, 心理的虐待17人, 性的虐待1人, 特定妊婦8人		1 計画どおりに達成できた ② ほぼ計画通りに達成できた 3 計画にほぼ及ばない 4 計画にまったく及ばない 5 実施しなかった 効果 子どもを安心して生み育てる環境を整え, 心身だけでなく経済的, 社会的にも安心して生活することができる
現状と課題	虐待に関する相談件数が増加傾向である。		今後の方向
今後の取り組み	虐待が疑われる事例等が発生した場合の連絡, 連携方法について今後も継続して周知していく。		1. 充実させる ②. 継続 3. 見直し 4. 廃止 5. その他()

事業名	37 子育て相談の充実	担当:健康増進課	達成度
今年度実施した取り組み	保健師・栄養士による電話・窓口・面接等での育児相談を随時実施した。また、子育て支援室での出前講座として保健師・栄養士の育児相談を実施した。 ・電話相談—2,100件 窓口相談—1,820件 面接相談—32件 ・子育て支援室での育児相談 実施回数—24回 参加者—221組		1 計画どおりに達成できた ② ほぼ計画通りに達成できた 3 計画にほぼ及ばない 4 計画にまったく及ばない 5 実施しなかった 効果 子どもを安心して生み育てる環境を整え, 心身だけでなく経済的, 社会的にも安心して生活することができる
現状と課題	相談内容等スタッフで共有し継続した支援ができるよう実施している。		今後の方向
今後の取り組み	引き続き、継続支援が必要なケースについては情報を共有して支援していく。		1. 充実させる ②. 継続 3. 見直し 4. 廃止 5. その他()

事業名	37 子育て相談の充実	担当:教育指導課	達成度
今年度実施した取り組み	<p>発達に課題がある児童生徒及び就学前の幼児に対して、発達の状況を確認しながら教育相談を行い、よりよい就学に向けての相談業務を実施した。</p> <p>教育支援委員会において、児童生徒の就学について共通理解と判定を行った。</p> <p>特別に配慮が必要な児童生徒に対し、特別支援教育支援員を配置し、個別に対応している。</p>		<p>1 計画どおりに達成できた ② ほぼ計画通りに達成できた 3 計画にほぼ及ばない 4 計画にまったく及ばない 5 実施しなかった</p> <p style="text-align: center;">効果</p> <p>子どもを安心して生み育てる環境を整え、心身だけでなく経済的、社会的にも安心して生活することができる</p>
現状と課題	発達に障害をもつ児童生徒が増加傾向にあり、その対応に苦慮することもある。		今後の方向
今後の取り組み	<p>教職員のインクルーシブ教育の理解と研修の充実を図る。</p> <p>特別支援教育支援員への発達に課題のある児童生徒への対応方法についての研修の充実と理解を図る機会の充実を図る。</p>		<p>1. 充実させる ②. 継続 3. 見直し 4. 廃止 5. その他()</p>

事業名	38 子育て世代包括支援センター事業の実施	担当:健康増進課	達成度
今年度実施した取り組み	<p>妊娠期から子育て期にわたるまで、地域の特性に応じ専門的な知見と当事者目線の両方の視点を生かし必要な情報を共有して、切れ目なく支援を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・母子保健コーディネーターによる要支援妊産婦の支援及び相談 ・子育て支援コーディネーターによる子育て支援室等身近な場所での育児相談 		<p>① 計画どおりに達成できた 2 ほぼ計画通りに達成できた 3 計画にほぼ及ばない 4 計画にまったく及ばない 5 実施しなかった</p> <p style="text-align: center;">効果</p> <p>自分の生き方を自分で決めることができる 男女がそれぞれ経済的、社会的に自立できる社会ができる 性別に関係なく、個人の個性・能力に応じた学習機会を提供できる 子どもを安心して生み育てる環境を整え、心身だけでなく経済的、社会的にも安心して生活することができる 健康状態を正しく理解し健康管理を行うことで、健やかに安心して生活を送ることができる</p>
現状と課題	問題のあるケースが増えていることでより充実したサポートが必要になっていることから、関係機関との連携を図っている。		今後の方向
今後の取り組み	引き続き、相談支援等で妊産婦、子育て家庭の個別ニーズを把握し、必要なサービスを円滑に利用できるようきめ細かく支援していく。		<p>1. 充実させる ②. 継続 3. 見直し 4. 廃止 5. その他()</p>

事業名	38 子育て世代包括支援センター事業の実施	担当:こども課	達成度
今年度実施した取り組み	利用者支援として、子育て支援室などの身近な場所で、①子育て家庭等から日常的に相談を受け、個別のニーズ等を把握、②子育て支援に関する情報の収集・提供等、市民の目線に立った、寄り添い型の支援を実施。		1 計画どおりに達成できた ② ほぼ計画通りに達成できた 3 計画にほぼ及ばない 4 計画にまったく及ばない 5 実施しなかった
	地域連携として、①より効果的に利用者が必要とする支援につながるよう、地域の関係機関との連絡調整、連携、協働の体制づくり、②地域に展開する子育て支援資源の育成等、地域における子育て支援ネットワークに基づく支援を実施。 ○子育て支援室訪問⇒83回 ○子育て支援室でのイベント⇒24回 ○地域の母子とつながるひとりぼっちにしないプロジェクト会議⇒10回 ○子育て支援室職員勉強会⇒1回		効果
			子どもを安心して生み育てる環境を整え、心身だけでなく経済的、社会的にも安心して生活することができる
現状と課題	子育てをしやすい環境づくりを関係機関とともに検討していく必要がある。また、育児相談の内容は、子どもの成長に関するもののみならず、発達に関すること、栄養に関すること等、多様化しているため、職員の資質の向上が必要である。		今後の方向
今後の取り組み	関係機関と子育て環境や体制づくりについて検討し、必要に応じて事業化をしていく。子育て支援室職員等への勉強会を定期的に開催する。		1. 充実させる ②. 継続 3. 見直し 4. 廃止 5. その他()

事業名	39 子育て中の保護者が使いやすい施設整備	担当:財政課	達成度
今年度実施した取り組み	本年度実施事業なし		① 計画どおりに達成できた 2 ほぼ計画通りに達成できた 3 計画にほぼ及ばない 4 計画にまったく及ばない 5 実施しなかった
	◎妊産婦優先駐車場の整備状況 ・伊奈庁舎 7台 (正面駐車場5台・図書館側駐車場2台) ・谷和原庁舎 1台 (県道側駐車場)		効果
			子どもを安心して生み育てる環境を整え、心身だけでなく経済的、社会的にも安心して生活することができる
現状と課題	妊産婦優先駐車場やだれでもトイレ(多目的トイレ)、キッズスペースなどを設置し、妊産婦の方が利用しやすいよう環境整備を進めている。		今後の方向
今後の取り組み	要望に応じ施設の充実を図るとともに、安全・衛生面を考慮した器具の更新等を行っていく。		①. 充実させる 2. 継続 3. 見直し 4. 廃止 5. その他()

事業名	39 子育て中の保護者が使いやすい施設整備	担当:こども課	達成度
今年度実施した取り組み	<p>妊娠時期から出産・育児に係る子育て中の親子の方々が気軽に集い、楽しくふれあい、遊びやお話をしたり、友達になったりできる場を提供するとともに、子育て家庭等に対する育児不安等についての相談指導、子育てサークル等への支援、育児に対する情報提供など地域の子育て支援の核となる子育て支援センターの整備を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フラワー(谷和原第2保育所, H23.10月～)⇒月～金, 午前9時～午後4時 ・小絹児童館子育て支援室(H26.4～)⇒火～日, 午前9時～午後6時 ・おひさま(みらい平コミセン, H26.11～)⇒火～日, 午前9時～午後6時 ・認定こども園みらい平ふたばランド子育て支援室(H20.4～)⇒月1回 ・認定こども園富士見ヶ丘子育て支援室(H26.4～)⇒月～金, 午前10時～午後4時 ・きらくやまこどもひろば子育て支援室(H27.4～)⇒火～土, 午前10時～午後4時 ・認定こども園ルンビニー学園子育て支援室(H28.4～)⇒月～金, 午前9時30分～午後3時 ・みらい認定こども園子育て支援室(H28.4～)⇒月1回 <p>出張子育て支援室を、伊奈公民館、谷原分館、福岡分館、谷井田コミセン等で実施している</p>		<p>1 計画どおりに達成できた ② ほぼ計画通りに達成できた 3 計画にほぼ及ばない 4 計画にまったく及ばない 5 実施しなかった</p> <p style="text-align: center;">効果</p> <p>子どもを安心して生み育てる環境を整え、心身だけでなく経済的、社会的にも安心して生活することができる</p>
現状と課題	施設間で取り組み状況に格差がある。地域の子育て世代の方が気軽に参加しやすい取り組みを検討していく必要がある。		今後の方向
今後の取り組み	市内全体の地域性や将来性等を踏まえ、空き教室等の利活用を総合的に判断し、地域子育て支援センターの整備、検討を行う。 施設の取り組み状況を把握するとともに、今後の取り組みについて随時検討していく。		<p>1. 充実させる ②. 継続 3. 見直し 4. 廃止 5. その他()</p>
事業名	40 児童虐待防止に向けた意識啓発の推進	担当:こども課	達成度
今年度実施した取り組み	<p>家庭児童相談員、母子・父子自立支援員、保健師が、校長会・保育園会議等に参加し、児童虐待防止の啓発活動を実施。 各イベントにおいて、児童虐待防止に関するリーフレット等の配布。 広報つくばみらい及び市HPIに、家庭児童相談事業・ひとり親相談事業の記事を掲載。</p>		<p>1 計画どおりに達成できた ② ほぼ計画通りに達成できた 3 計画にほぼ及ばない 4 計画にまったく及ばない 5 実施しなかった</p> <p style="text-align: center;">効果</p> <p>子どもを安心して生み育てる環境を整え、心身だけでなく経済的、社会的にも安心して生活することができる</p>
現状と課題	施設によって虐待に関する危機感に差がある。		今後の方向
今後の取り組み	虐待を早期発見できる虐待防止に関する地域・ネットワークづくり 庁内連携や関係機関との連携強化 子育て支援のネットワーク構築 虐待が疑われる事例等が発生した場合の連絡、連携方法について今後も継続して周知していく。		<p>1. 充実させる ②. 継続 3. 見直し 4. 廃止 5. その他()</p>

4. 介護支援の充実

事業名	41 介護に関する講座の実施	担当:介護福祉課	達成度
<p>今年度実施した取り組み</p>	<p>・「地域介護ヘルパー養成研修」を実施、13名が参加した。 ・地域介護ヘルパー養成研修修了者を対象に「地域介護ヘルパーフォローアップ研修」を実施、延20名が参加した。</p>		<p>① 計画どおりに達成できた ② ほぼ計画通りに達成できた ③ 計画にほぼ及ばない ④ 計画にまったく及ばない ⑤ 実施しなかった</p> <p>効果</p> <p>性別による役割分担意識の解消ができる、男女がそれぞれ経済的、社会的に自立できる社会ができる</p>
<p>現状と課題</p>	<p>講座開始から3年が経過するが、必要性を感じ受講する方が多く、申込人数が減少することはない。より実践的な内容を伝えられるよう、講師には当市を拠点として活動されている介護従事者をお願いしている。</p>		<p>今後の方向</p>
<p>今後の取り組み</p>	<p>引き続き、養成研修およびフォローアップ研修を継続して実施していく。より若い世代も受講できるように内容や実施期間等を検討していく。</p>		<p>1. 充実させる ②. 継続 3. 見直し 4. 廃止 5. その他()</p>
事業名	42 生活援助事業	担当:介護福祉課	達成度
<p>今年度実施した取り組み</p>	<p>①配食サービス事業 65歳以上のひとり暮らしの高齢者及び高齢者世帯に対し、在宅生活を継続するために、栄養バランスの取れた食事を提供する(43人 延2,343食) ②有料在宅福祉サービス事業 60歳以上の高齢者に対し、清掃、洗濯、買い物、話し相手などの家事援助サービスを行い、利用者の日常生活の援助を行う。(利用会員105人、延673時間) ③理髪サービス事業 市民税非課税世帯に属する65歳以上の寝たきり高齢者、重度心身障がい者のいる家庭に対し、理容師を派遣し、介護者の負担軽減を図る(16人・4回/年) ④寝具洗濯乾燥消毒サービス 70歳以上のひとり暮らし高齢者及び高齢者世帯、またはねたきりの65歳以上の高齢者の方に、寝具の洗濯等のサービスを行う(延104人 2回/年)</p>		<p>1 計画どおりに達成できた ② ほぼ計画通りに達成できた 3 計画にほぼ及ばない 4 計画にまったく及ばない 5 実施しなかった</p> <p>効果</p> <p>自分の生き方を自分で決めることができる 男女がそれぞれ経済的、社会的に自立できる社会ができる 健康状態を正しく理解し健康管理を行うことで、健やかに安心して生活を送ることができる</p>
<p>現状と課題</p>	<p>高齢者が住み慣れた地域で、心身だけでなく経済的にも安心して生活することができる。事業によって対象となる年齢に違いがある。</p>		<p>今後の方向</p>
<p>今後の取り組み</p>	<p>引き続き今年度同様の取組を継続していくとともに、高齢者に適した援助を提供する。</p>		<p>1. 充実させる ②. 継続 3. 見直し 4. 廃止 5. その他()</p>

主要課題2. 雇用や職業の場における男女共同参画の推進 1. 雇用の分野における均等な機会と待遇の確保, 職場環境の整備

事業名	43 均等な雇用機会等の確保に向けた広報・啓発の推進	担当:地域推進課	達成度
今年度実施した取り組み	・茨城労働局からの男女雇用機会均等法に関するパンフレットを谷和原庁舎ラックに設置し、周知を図った。		1 計画どおりに達成できた ② ほぼ計画通りに達成できた 3 計画にほぼ及ばない 4 計画にまったく及ばない 5 実施しなかった 効果 自分の生き方を自分で決めることができる 性別による役割分担意識の解消ができる 事業所・経営者の男女平等意識の向上が期待できる 男女がそれぞれ経済的、社会的に自立できる社会ができる 子どもを安心して生み育てる環境を整え、心身だけでなく経済的、社会的にも安心して生活することができる
現状と課題	パンフレットの設置だけでなく、市HP等においても周知を広く図る必要がある。		今後の方向
今後の取り組み	他市町村や厚生労働省の啓発事例を研究し、周知方法を検討する。		1. 充実させる ②. 継続 3. 見直し 4. 廃止 5. その他()
事業名	44 「パートタイム労働法」等の普及・啓発の推進	担当:地域推進課	達成度
今年度実施した取り組み	市HPと茨城県労働局HPをリンクさせ、随時情報提供をしている。		1 計画どおりに達成できた ② ほぼ計画通りに達成できた 3 計画にほぼ及ばない 4 計画にまったく及ばない 5 実施しなかった 効果 男女の人権を尊重する意識を育むことが期待できる 事業所・経営者の男女平等意識の向上が期待できる 子どもを安心して生み育てる環境を整え、心身だけでなく経済的、社会的にも安心して生活することができる
現状と課題	市HPを通じて、周知を図っている。		今後の方向
今後の取り組み	引き続き、市HPを活用して周知を図っていく。「パートタイム労働法」等の詳しい解説が掲載されている厚生労働省のHPとリンクさせる。		①. 充実させる 2. 継続 3. 見直し 4. 廃止 5. その他()

2. 農業・商工自営業における男女共同参画

事業名	45 家族経営協定の周知・締結促進	担当:産業経済課	達成度
<p>今年度実施した取り組み</p>	<p>農業従事者については、農業経営改善計画認定申請研修会時に家族経営協定制度の説明を実施し、整備のための情報を提供している。</p> <p>研修会実施日及び出席数 平成30年 12月26日・・・ 6経営体</p> <p>対象者 5年間の認定期間が満了する認定農業者、新規に認定農業者になることを希望する農業者 推進に当たった協力者 つくば地域農業改良普及センター、J男女の人権を尊重する意識を育むことが期待できる茨城みなみ農業協同組合</p>		<p>①計画どおりに達成できた ② ほぼ計画通りに達成できた ③ 計画にほぼ及ばない ④ 計画にまったく及ばない ⑤ 実施しなかった</p> <p>効果</p> <p>男女の人権を尊重する意識を育むことが期待できる 性別による役割分担意識の解消ができる 事業所・経営者の男女平等意識の向上が期待できる 地域社会や団体等で男女共にリーダーシップを発揮することができる 健康状態を正しく理解し健康管理を行うことで、健やかで安心した生活を送ることができる</p>
<p>現状と課題</p>	<p>家族の中で1名のみが就農するケースが大半であり、協定締結に至らない。また、締結したとしてもメリットが少ない。</p>		<p>今後の方向</p>
<p>今後の取り組み</p>	<p>引き続き農業者に対し周知を行っていく。</p>		<p>1. 充実させる ②. 継続 3. 見直し 4. 廃止 5. その他()</p>
事業名	46 商工活動の推進	担当:産業経済課	達成度
<p>今年度実施した取り組み</p>	<p>商工会へ補助金を交付し、活動支援を行った(平成30年度補助金1,287万円)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・理事会、役員会 5回開催 ・経営改善普及事業 講演・講習会(集団・個別) 66回開催 ・操業支援事業(伴走型小規模事業者支援) 8回開催 <p>その他、市内外各種催しの企画運営・参加協力</p>		<p>① 計画どおりに達成できた ② ほぼ計画通りに達成できた ③ 計画にほぼ及ばない ④ 計画にまったく及ばない ⑤ 実施しなかった</p> <p>効果</p> <p>事業所・経営者の男女平等意識の向上が期待できる 地域社会や団体等で男女共にリーダーシップを発揮することができる 男女がそれぞれ経済的、社会的に自立できる社会ができる</p>
<p>現状と課題</p>	<p>会員数の減少が課題</p>		<p>今後の方向</p>
<p>今後の取り組み</p>	<p>継続支援</p>		<p>1. 充実させる ②. 継続 3. 見直し 4. 廃止 5. その他()</p>

事業名	47 女性の起業や経営参画の促進	担当:産業経済課	達成度
今年度実施した取り組み	つくばみらい市商工会、守谷市、守谷市商工会と連携し、創業支援セミナー及び個別相談会を開催 全8回		① 計画どおりに達成できた ② ほぼ計画通りに達成できた ③ 計画にほぼ及ばない ④ 計画にまったく及ばない ⑤ 実施しなかった 効果 自分の生き方を自分で決めることができる 事業所・経営者の男女平等意識の向上が期待できる 男女がそれぞれ経済的、社会的に自立できる社会ができる
現状と課題	小売・飲食業などは、日中人口やテナント、企業が集約される場所へ出店を希望する傾向が高いが、市内で創業に適した場所が少なく、他へ流れてしまう		今後の方向
今後の取り組み	引き続き、セミナー等を開催し、創業機運を高めていく。		1. 充実させる ②. 継続 3. 見直し 4. 廃止 5. その他()

3. 女性の再就職への支援

事業名	48 女性の再就職に関する情報の提供	担当:地域推進課	達成度
今年度実施した取り組み	・茨城県及び近隣自治体で実施する再就職セミナー等について、市HPへの掲載や公共施設にパンフレットを配置し周知した。		1 計画どおりに達成できた ② ほぼ計画通りに達成できた 3 計画にほぼ及ばない 4 計画にまったく及ばない 5 実施しなかった 効果 男女の人権を尊重する意識を育むことが期待できる 自分の生き方を自分で決めることができる 男女がそれぞれ経済的、社会的に自立できる社会ができる
現状と課題	パソコン操作のスキルアップや、農村女性の女性参画に関する講座などのチラシを設置し、参加を促している。		今後の方向
今後の取り組み	継続して、情報提供を行っていく。		1. 充実させる ②. 継続 3. 見直し 4. 廃止 5. その他()

事業名	48 女性の再就職に関する情報の提供	担当:産業経済課	達成度
今年度実施した取り組み	<p>ハローワーク、県労働政策課、いばらき県南若者サポートステーションと連携し、就職に関連する情報提供や相談に応じた。</p> <p>・ハローワーク求人情報 毎週月曜日に両庁舎へ掲示および市HPへ掲載</p>		<p>1 計画どおりに達成できた ② ほぼ計画通りに達成できた 3 計画にほぼ及ばない 4 計画にまったく及ばない 5 実施しなかった</p> <p>効果</p> <p>自分の生き方を自分で決めることができる 男女がそれぞれ経済的、社会的に自立できる社会ができる 性別に関係なく、個人の個性・能力に応じた学習機会を提供できる</p>
現状と課題	求人は多く掲載されているが、条件がマッチしないためか就労に結びつかない		今後の方向
今後の取り組み	継続して就労に関する情報を提供していく		<p>1. 充実させる ②. 継続 3. 見直し 4. 廃止 5. その他()</p>

事業名	49 女性の再就職支援	担当:地域推進課	達成度
今年度実施した取り組み	<p>・有資格者社会復帰支援事業を実施した。</p> <p>事業概要:育児や移住などの理由で現場を離れたことにより、再就職に不安を持つ有資格者の方に、幼児と触れ合う機会を提供することで、再度現場で活躍する意欲を向上させるとともに、子どもたちと触れ合う感覚を取り戻すきっかけづくりとする。</p> <p>日 時:①7月12日(木)②9月28日(木)③10月24日(木) 場 所:①②谷和原第2保育所 ③伊奈第2保育所 参加要件:保育士資格、幼稚園教諭免許を所持し、その資格・免許を生かして再就職を希望するつくばみらい市内在住者 参加者:①40代女性1名、託児1名②30代女性1名、託児2名③70代女性1名 参加費:給食費、一時保育利用料 実施内容:保育実地体験</p>		<p>① 計画どおりに達成できた 2 ほぼ計画通りに達成できた 3 計画にほぼ及ばない 4 計画にまったく及ばない 5 実施しなかった</p> <p>効果</p> <p>自分の生き方を自分で決めることができる 男女がそれぞれ経済的、社会的に自立できる社会ができる</p>
現状と課題	想定よりも参加者が少なかった。		今後の方向
今後の取り組み	有資格者が参加しやすいよう、参加しやすい形式を検討していくとともに、積極的に周知していく。		<p>①. 充実させる 2. 継続 3. 見直し 4. 廃止 5. その他()</p>

4. 多様な働き方への支援

事業名	50 就業に関する情報の収集・提供	担当:産業経済課	達成度
今年度実施した取り組み	ハローワーク、県労働政策課、いばらき県南若者サポートステーション、ポリテクセンターと連携し、就職に関連する情報提供や相談に応じた。 ・ハローワーク求人情報 毎週月曜日に両庁舎へ掲示および市HPへ掲載		1 計画どおりに達成できた ② ほぼ計画通りに達成できた 3 計画にほぼ及ばない 4 計画にまったく及ばない 5 実施しなかった
			効果
			自分の生き方を自分で決めることができる 男女がそれぞれ経済的、社会的に自立できる社会ができる 性別に関係なく、個人の個性・能力に応じた学習機会を提供できる
現状と課題	求人は多く掲載されているが、条件がマッチしないためか就労に結びつかない		今後の方向
今後の取り組み	継続して就労に関する情報を提供していく		1. 充実させる ②. 継続 3. 見直し 4. 廃止 5. その他()

事業名	51 各種講座・セミナーの情報提供	担当:産業経済課	達成度
今年度実施した取り組み	商工会と連携し、創業を希望する方、興味がある方へセミナーを開催した。 ハローワークのハロートレーニング(公共職業訓練コースガイド)の情報提供を行った。 ポリテクセンター茨城の公共職業訓練の受講者募集の情報提供を行った。		1 計画どおりに達成できた ② ほぼ計画通りに達成できた 3 計画にほぼ及ばない 4 計画にまったく及ばない 5 実施しなかった
			効果
			自分の生き方を自分で決めることができる 男女がそれぞれ経済的、社会的に自立できる社会ができる 性別に関係なく、個人の個性・能力に応じた学習機会を提供できる
現状と課題	さまざまな分野で各種講座が開かれており、情報量は非常に豊富である。		今後の方向
今後の取り組み	継続して情報提供を実施する		1. 充実させる ②. 継続 3. 見直し 4. 廃止 5. その他()

事業名	52 能力発揮促進のための情報収集・提供	担当:産業経済課	達成度
今年度実施した取り組み	ハローワーク、県労働政策課、いばらき県南若者サポートステーションと連携し、就職に関連する情報提供や相談に応じた。 県施策の「戦略的分野雇用促進事業」の情報提供を行った。		1 計画どおりに達成できた ② ほぼ計画通りに達成できた 3 計画にほぼ及ばない 4 計画にまったく及ばない 5 実施しなかった 効果 自分の生き方を自分で決めることができる 男女がそれぞれ経済的、社会的に自立できる社会ができる 性別に関係なく、個人の個性・能力に応じた学習機会を提供できる
現状と課題	能力発揮促進のための情報量は非常に豊富である。		今後の方向
今後の取り組み	継続して情報提供を実施する		1. 充実させる ②. 継続 3. 見直し 4. 廃止 5. その他()

事業名	53 女性の起業支援	担当:地域推進課	達成度
今年度実施した取り組み	・茨城県及び近隣自治体で実施する起業セミナー等について、庁舎にチラシを設置し、周知を図った。 ・茨城県の「男女共同参画チャレンジ相談」を第2次男女共同参画計画概要版にて掲載している。 ※再就職や起業、キャリアアップ、地域活動など、様々なことにチャレンジし、新しい可能性を切り開いていこうとしている方からの相談を受ける窓口		① 計画どおりに達成できた 2 ほぼ計画通りに達成できた 3 計画にほぼ及ばない 4 計画にまったく及ばない 5 実施しなかった 効果 男女がそれぞれ経済的、社会的に自立できる社会ができる 子どもを安心して生み育てる環境を整え、心身だけでなく経済的、社会的にも安心して生活することができる
現状と課題	起業セミナーや、相談窓口について周知を図っている。		今後の方向
今後の取り組み	今後も、随時起業セミナー等に関する情報を発信していく。		1. 充実させる ②. 継続 3. 見直し 4. 廃止 5. その他()

事業名	53 女性の起業支援	担当:産業経済課	達成度
今年度実施した取り組み	つくばみらい市商工会、守谷市、守谷市商工会と連携し、創業支援セミナー及び個別相談会を開催 全8回		① 計画どおりに達成できた ② ほぼ計画通りに達成できた ③ 計画にほぼ及ばない ④ 計画にまったく及ばない ⑤ 実施しなかった 効果 自分の生き方を自分で決めることができる 事業所・経営者の男女平等意識の向上が期待できる 男女がそれぞれ経済的、社会的に自立できる社会ができる
現状と課題	小売・飲食業などは、日中人口やテナント、企業が集約される場所へ出店を希望する傾向が高いが、市内で創業に適した場所が少なく、他へ流れてしまう		今後の方向
今後の取り組み	引き続き、セミナー等を開催し、創業機運を高めていく。		1. 充実させる ②. 継続 3. 見直し 4. 廃止 5. その他()

主要課題1. 政策・方針決定の過程への女性の参画 1. 審議会等への女性の登用促進

事業名	54 審議会等への女性委員の登用促進	担当:地域推進課	達成度
<p>今年度実施した取り組み</p>	<p>・審議会等への女性登用目標は、第2次男女共同参画計画において平成34年度までに30%達成することを目標としている。 延べ総委員数:354人(うち延べ女性委員数 93人) 女性委員比率:26.3%(前年21.1%) ・庁内掲示板にて、審議会等委員を委嘱する際には、出来る限り女性の委員数が3割以上となるよう依頼した。 ・政策・方針決定の場への女性の参画を促進するため、様々な分野で活躍する女性の情報を登録し、活用する「女性人材登録」制度について、広報つくばみらいにて記事を掲載した。また、各課に対して当制度について周知を行い、活用を依頼した。</p> <p>登録者数:10名(平成31年3月末時点)</p>		<p>1 計画どおりに達成できた 2 ほぼ計画通りに達成できた ③ 計画にほぼ及ばない 4 計画にまったく及ばない 5 実施しなかった</p> <p>効果</p> <p>男女の人権を尊重する意識を育むことが期待できる 性別による役割分担意識の解消ができる 地域社会や団体等で男女共にリーダーシップを発揮することができる</p>
<p>現状と課題</p>	<p>審議会の内容によっては、適任者がいない場合もあり、様々な分野で活躍する女性に、「女性人材」に登録いただく必要がある。</p>		<p>今後の方向</p>
<p>今後の取り組み</p>	<p>様々な分野で活躍する女性に登録していただけるよう、広報つくばみらいに記事を掲載するだけでなく、市から適任者を発掘し、登録を働きかける。</p>		<p>①. 充実させる 2. 継続 3. 見直し 4. 廃止 5. その他()</p>
事業名	54 審議会等への女性委員の登用促進	担当:総務課	達成度
<p>今年度実施した取り組み</p>	<p>庁内で審議会、協議会等の例規を制定する場合で担当課から法制担当に協議があった際は、委員の人選に当たり公募制の導入を担当課に提案し、規定に盛り込むよう促している。 また、法令審査委員会の審査においても、女性の積極的な登用が図られるよう担当課に提案している。</p>		<p>1 計画どおりに達成できた ② ほぼ計画通りに達成できた 3 計画にほぼ及ばない 4 計画にまったく及ばない 5 実施しなかった</p> <p>効果</p> <p>地域社会や団体等で男女共にリーダーシップを発揮することができる</p>
<p>現状と課題</p>	<p>委員の人選での公募に応募が少ない傾向にあり、周知に力を入れていく必要がある。また、委員候補者の女性人材を発掘し、委員の人選時に積極的に登用していく必要がある。</p>		<p>今後の方向</p>
<p>今後の取り組み</p>	<p>引き続き、担当課からの例規制定時や委員の人選相談の際に、女性の積極的な登用が図られるよう提案していく。</p>		<p>1. 充実させる ②. 継続 3. 見直し 4. 廃止 5. その他()</p>

事業名	55 審議会等の会議公開制度	担当:総務課	達成度
<p>今年度実施した取り組み</p>	<p>審議会等の会議の公開については、会議の審議等の状況を明らかにすることで、市政への参画を促すためにも重要なことである。 審議会等の会議については原則公開とするものの、個人情報等の非公開情報を含む会議については非公開とすることも想定できることから、公開の可否及び公開に関する基本的な事項を定めた指針を平成25年度に制定した。 平成26年度より、審議会等の会議を開催するにあたっては、この指針に基づき実施している。</p> <p>平成28年度 公開会議数:75件 平成29年度 公開会議数:88件 平成30年度 公開会議数:93件</p>	<p>① 計画どおりに達成できた 2 ほぼ計画通りに達成できた 3 計画にほぼ及ばない 4 計画にまったく及ばない 5 実施しなかった</p>	<p>効果</p>
<p>現状と課題</p>	<p>公開制度が浸透し、審議会等の会議の公開件数が伸びている。</p>	<p>今後の方向</p>	<p>地域社会や団体等で男女共にリーダーシップを発揮することができる 男女がそれぞれ経済的、社会的に自立できる社会ができる</p>
<p>今後の取り組み</p>	<p>引き続き、会議の審議等の状況を明らかにして、市民の市政への参画推進を図っていく。</p>	<p>1. 充実させる ② 継続 3. 見直し 4. 廃止 5. その他()</p>	
事業名	56 女性人材の情報提供	担当:地域推進課	達成度
<p>今年度実施した取り組み</p>	<p>・庁内掲示板にて、女性人材制度について周知し、活用するよう呼びかけた。 ・審議会等担当課が情報を閲覧する機会があったものの、適任者がおらず、委員等への登用に至らなかった。</p>	<p>1 計画どおりに達成できた 2 ほぼ計画通りに達成できた ③ 計画にほぼ及ばない 4 計画にまったく及ばない 5 実施しなかった</p>	<p>効果</p>
<p>現状と課題</p>	<p>審議会の内容によっては、適任者がいない場合もあり、様々な分野で活躍する女性に、「女性人材」に登録いただく必要がある。</p>	<p>今後の方向</p>	<p>男女の人権を尊重する意識を育むことが期待できる 性別による役割分担意識の解消ができる 地域社会や団体等で男女共にリーダーシップを発揮することができる</p>
<p>今後の取り組み</p>	<p>様々な分野で活躍する女性に登録していただけるよう、広報つくばみらいに記事を掲載するだけでなく、市から適任者を発掘し、登録を呼びかける。</p>	<p>① 充実させる 2. 継続 3. 見直し 4. 廃止 5. その他()</p>	

2. 女性の能力発揮への支援

事業名	57 民間企業等での女性登用の啓発	担当:地域推進課	達成度
今年度実施した取り組み	国や他市町村の啓発事例について研究を行った。		1 計画どおりに達成できた 2 ほぼ計画通りに達成できた 3 計画にほぼ及ばない 4 計画にまったく及ばない ⑤ 実施しなかった
			効果
			事業所・経営者の男女平等意識の向上が期待できる
現状と課題	市内事業所に対して直接働きかけることは困難であり、市HP等を活用した啓発にとどまる。		今後の方向
今後の取り組み	引き続き国や他市町村の事例を研究し、有効な啓発方法を検討していく。		1. 充実させる ②. 継続 3. 見直し 4. 廃止 5. その他()
事業名	58 女性人材育成のための学習機会提供	担当:地域推進課	達成度
今年度実施した取り組み	・各自治体で実施する起業セミナーやスキルアップ講座について、随時市HP等を活用して周知を行うとともに、各公共施設にチラシを設置した。		① 計画どおりに達成できた 2 ほぼ計画通りに達成できた 3 計画にほぼ及ばない 4 計画にまったく及ばない 5 実施しなかった
			効果
			自分の生き方を自分で決めることができる 地域社会や団体等で男女共にリーダーシップを発揮することができる 男女がそれぞれ経済的、社会的に自立できる社会ができる
現状と課題	女性の活躍に向けて、セミナー等の学習機会を提供している。		今後の方向
今後の取り組み	今後も、随時学習機会を提供し、女性の活躍を図る。		1. 充実させる ②. 継続 3. 見直し 4. 廃止 5. その他()

主要課題2. 地域における身近な男女共同参画の促進 1. 地域における男女共同参画の促進

事業名	59 地域活動などの方針決定の過程への女性の参画促進	担当:地域推進課	達成度
<p>今年度実施した取り組み</p>	<p>・自治会は地域コミュニティの核となる重要団体であり、人と人のつながりがある住みよいまちづくりのために、防災をはじめとする地域交流の場づくり、環境美化、防災等、様々な活動に男女が共に協力し合って取り組んでいる。 30年度の行政協力員・行政区代表者213名のうち女性は13名である。(29年度は212名のうち15名)</p> <p>・行政協力員・行政区代表者研修会において、第2次男女共同参画計画概要版及び啓発ティッシュを配布した。</p>		<p>① 計画どおりに達成できた ② ほぼ計画通りに達成できた ③ 計画にほぼ及ばない ④ 計画にまったく及ばない ⑤ 実施しなかった</p> <p>効果</p> <p>男女の人権を尊重する意識を育むことが期待できる 地域社会や団体等で男女共にリーダーシップを発揮することができる</p>
<p>現状と課題</p>	<p>それぞれの自治会において、男女が共に協力し合いながら地域活動を行っている。</p>		<p>今後の方向</p>
<p>今後の取り組み</p>	<p>引き続き、行政協力員・行政区代表者が集まる機会に、計画の概要版等配布し、男女共同参画社会に関する周知を行っていく。</p>		<p>1. 充実させる ②. 継続 3. 見直し 4. 廃止 5. その他()</p>
事業名	60 環境美化活動への参加促進	担当:生活環境課	達成度
<p>今年度実施した取り組み</p>	<p>・市内一斉清掃は、地域における生活環境の確保と市民の環境美化意識の啓発を目的として年2回実施しており、男女を問わずボランティアでの作業参加を広報つくばみらい、各行政区への回覧で広く呼び掛けている。 市では、清掃作業に必要となるゴミ袋を各行政区へ事前配布し、当日は参加者が自主的に作業を行っている。</p> <p>・以下の日程で市内一斉清掃活動を実施した。 ①平成30年 5月27日(日) 参加者数:5,073名 男性:2,522人(49.71%) 女性:2,551人(50.29%) ②平成30年11月25日(日) 参加者数:4,534名 男性:2,349人(51.81%) 女性:2,185人(48.19%) 平成30年度合計参加者数:9,607名 男性:4,871人(50.70%) 女性:4,736人(49.30%)</p>		<p>1 計画どおりに達成できた ② ほぼ計画通りに達成できた 3 計画にほぼ及ばない 4 計画にまったく及ばない 5 実施しなかった</p> <p>効果</p> <p>性別による役割分担意識の解消ができる</p>
<p>現状と課題</p>	<p>参加割合は概ね半数ずつであり、男女が共にバランスよく参画した地域活動となった。</p>		<p>今後の方向</p>
<p>今後の取り組み</p>	<p>引き続き、市内一斉清掃を継続するとともに、様々な媒体を通じて情報提供を行う。 昨年度より参加者数が減少したため、広報やHP等を活用して参加者を増やす取り組みを行う。</p>		<p>1. 充実させる ②. 継続 3. 見直し 4. 廃止 5. その他()</p>

事業名	61再 ハーモニーフライト事業への市民参加の促進	担当:地域推進課	達成度
今年度実施した取り組み	平成30年度より、茨城県のハーモニーフライト事業が廃止となった。		1 計画どおりに達成できた 2 ほぼ計画通りに達成できた 3 計画にほぼ及ばない 4 計画にまったく及ばない ⑤ 実施しなかった
			効果
現状と課題			今後の方向
今後の取り組み	県の事業が廃止となったため、本事業も廃止とする。		1. 充実させる 2. 継続 3. 見直し ④ 廃止 5. その他()

事業名	62 シルバー人材センター活動支援	担当:介護福祉課	達成度
今年度実施した取り組み	高齢者に臨時的・短期的な就業機会を提供し、その就労を通じて地域社会の向上と活性化に貢献することで、健康で生きがいのある生活を送ることに貢献するシルバー人材センターに、市から補助金を交付することによりその運営を支援するとともに、施設管理や窓口業務、清掃、除草などの業務委託を行った。（市補助金3,000千円・会員数416人・就労実人員345人・受注金額168,521千円）		1 計画どおりに達成できた ② ほぼ計画通りに達成できた 3 計画にほぼ及ばない 4 計画にまったく及ばない 5 実施しなかった
			効果 自分の生き方を自分で決めることができる 地域社会や団体等で男女共にリーダーシップを発揮することができる 男女がそれぞれ経済的、社会的に自立できる社会ができる
現状と課題	シルバー人材センターに新規加入する会員は増えてはいるが退会する会員もいることから、高齢者人口は増加しているものの会員数はほぼ横ばいとなっている。		今後の方向
今後の取り組み	引き続き補助金を交付し、運営を支援していく		1. 充実させる ② 継続 3. 見直し 4. 廃止 5. その他()

事業名	63 学校行事に参加しやすい環境の整備	担当:教育指導課	達成度
今年度実施した取り組み	町探検における地域人材の活用を図った。 地域の伝統文化(綱火, 祈禱囃子, お茶づくり等)の継承等, 地域資源を活用した教育活動の充実を図った。 運動会や音楽会, 秋祭りなど地域の方が参加しやすいようチラシ等を配布した。		1 計画どおりに達成できた ② ほぼ計画通りに達成できた 3 計画にほぼ及ばない 4 計画にまったく及ばない 5 実施しなかった
			効果
			性別による役割分担意識の解消ができる
現状と課題	道徳の教科化, 外国語の教科化等, 授業時数が増えている現状で, 時間確保をするのが大変な状況である。 併せて, 教員の働き方改革もあるので, 教職員への負荷が非常に大きくなっている。		今後の方向
今後の取り組み	新学習指導要領では, 外国語の教科化, 道徳の教科化, プログラミング教育の推進など, 教職員に大きな負担がかかっているため, 学校行事の精選も視野に入れた地域における男女共同参画の在り方を探る必要がある。		1. 充実させる ② 継続 3. 見直し 4. 廃止 5. その他()

事業名	64 市民活動の支援	担当:地域推進課	達成度
今年度実施した取り組み	市民活動を支援し, 市民協働の実現を図っていくために, 「協働」における基本的な考え方や方向性を示す「つくばみらい市市民協働基本指針」を定めた。		① 計画どおりに達成できた 2 ほぼ計画通りに達成できた 3 計画にほぼ及ばない 4 計画にまったく及ばない 5 実施しなかった
			効果
			地域社会や団体等で男女共にリーダーシップを発揮することができる
現状と課題	これまで主に行政が公共サービスの提供や地域課題を解決する役割を担っていたが, より魅力的で満足度の高いまちとするため, 市民力を生かした様々な活動主体がそれぞれの役割分担の下, 連携して協働を推進していく必要がある。		今後の方向
今後の取り組み	市民協働の実現に向けて, 市民の意識の醸成や, 庁内における共通認識を形成していくために, 講座を実施する。		① 充実させる 2. 継続 3. 見直し 4. 廃止 5. その他()

事業名	65 市民活動支援体制の整備	担当:地域推進課	達成度
今年度実施した取り組み	市民活動を支援し、市民協働の実現を図っていくために、「協働」における基本的な考え方や方向性を示す「つくばみらい市市民協働基本指針」を定めた。		① 計画どおりに達成できた ② ほぼ計画通りに達成できた ③ 計画にほぼ及ばない ④ 計画にまったく及ばない ⑤ 実施しなかった
			効果
現状と課題	団体からの要望を聞き取り、支援する体制が整っていない。		今後の方向
今後の取り組み	市内で活動する団体をまわり、必要とする制度や支援体制についてヒアリングを行う。協働のまちづくり活動を支援する拠点の設置を検討するとともに、人や団体とその活動をつなぐコーディネーターの育成を図る。		① 充実させる ② 継続 ③ 見直し ④ 廃止 ⑤ その他()

2. 防災分野における男女共同参画の促進

事業名	66 防災会議の実施	担当:防災課	達成度
今年度実施した取り組み	平成30年度は、地域防災計画の更新がなかったため、防災会議を開催しなかった。		① 計画どおりに達成できた ② ほぼ計画通りに達成できた ③ 計画にほぼ及ばない ④ 計画にまったく及ばない ⑤ 実施しなかった
			効果
現状と課題	現在の委員構成は、各企業・団体等の役職により委員を委嘱しているため、年度によって女性の割合が変更してしまうことがある。		今後の方向
今後の取り組み	防災会議委員の女性割合を増やすため、女性人材登録者等の活用を検討する。		① 充実させる ② 継続 ③ 見直し ④ 廃止 ⑤ その他()

事業名	67 男女のニーズの違いを踏まえた災害時における支援体制の促進	担当:防災課	達成度
今年度実施した取り組み	避難所開設マニュアルを策定し、プライバシー保護を考慮した避難所開設・運営をマニュアル化した。		<p>1 計画どおりに達成できた 2 ほぼ計画通りに達成できた ③ 計画にほぼ及ばない 4 計画にまったく及ばない 5 実施しなかった</p> <p>効果</p> <p>地域社会や団体等で男女共にリーダーシップを発揮することができる 性別に関係なく、個人の個性・能力に応じた学習機会を提供できる</p>
現状と課題	男女のニーズの違いを把握しきれていない		今後の方向
今後の取り組み	全国に蓄積されているデータを参考に、支援体制のあり方を検討する。		<p>1. 充実させる ②. 継続 3. 見直し 4. 廃止 5. その他()</p>
事業名	68 女性消防団員の加入促進	担当:防災課	達成度
今年度実施した取り組み	市の新規採用職員に対して研修時に消防団加入依頼を実施し、市HPにて加入募集の掲載を行った。また、市防災訓練、小張・高岡の綱火警戒、商工祭、火災予防パレード、消防出初式、第3回みらいマラソンでのイベント等様々な活動を行い女性消防団を市民に周知した。		<p>1 計画どおりに達成できた ② ほぼ計画通りに達成できた 3 計画にほぼ及ばない 4 計画にまったく及ばない 5 実施しなかった</p> <p>効果</p> <p>男女の人権を尊重する意識を育むことが期待できる 地域社会や団体等で男女共にリーダーシップを発揮することができる 男女がそれぞれ経済的、社会的に自立できる社会ができる</p>
現状と課題	2022年度までの女性消防団員目標数を15人としているが、年々団員が減少しており団員確保が課題である。		今後の方向
今後の取り組み	引き続き、市民の集まるイベント等で火災予防運動や広報啓発活動等を行い、女性消防団の活動を市民へ周知し加入促進を図る。		<p>1. 充実させる ②. 継続 3. 見直し 4. 廃止 5. その他()</p>

主要課題3. 国際社会への参画 1. 情報の収集と提供

事業名	69 海外の男女共同参画に関する情報の収集と提供	担当: 地域推進課	達成度
<p>今年度実施した取り組み</p>	<p>内閣府が発行している情報誌「共同参画」は、海外男女共同参画に関する取り組み等も取り上げているので、庁舎や図書館の啓発コーナーに設置し市民に情報を提供した。</p>		<p>1 計画どおりに達成できた ② ほぼ計画通りに達成できた 3 計画にほぼ及ばない 4 計画にまったく及ばない 5 実施しなかった</p> <p>効果</p> <p>男女の人権を尊重する意識を育むことが期待できる 性別による役割分担意識の解消ができる 事業所・経営者の男女平等意識の向上が期待できる その他</p>
<p>現状と課題</p>	<p>情報提供の方法が、内閣府が発行する情報誌のみであること</p>		<p>今後の方向</p>
<p>今後の取り組み</p>	<p>引き続き情報誌「共同参画」を通じて情報を提供していく。</p>		<p>1. 充実させる ②. 継続 3. 見直し 4. 廃止 5. その他()</p>

2. 国際理解, 国際交流の推進

事業名	70 国際理解教育の推進	担当: 教育指導課	達成度
<p>今年度実施した取り組み</p>	<p>外国語(英語)の授業や道徳において国際理解教育についての学習を進め、自国文化や異文化理解を深めるための指導の充実を図った。 就学義務のない外国籍をもつ児童生徒を積極的に受け入れを行った。 ALTを活用した、異文化交流にも努めた。</p>		<p>1 計画どおりに達成できた ② ほぼ計画通りに達成できた 3 計画にほぼ及ばない 4 計画にまったく及ばない 5 実施しなかった</p> <p>効果</p> <p>その他</p>
<p>現状と課題</p>	<p>外国人児童生徒に対する日本語指導に課題が見られる。</p>		<p>今後の方向</p>
<p>今後の取り組み</p>	<p>これまで通り、国際理解教育の推進については、自国文化や異文化理解を深める指導の充実を図る。 郷土を愛し、伝統と文化を尊重できる取組の推進を図る。 ALTを活用した、異文化理解に努める。</p>		<p>1. 充実させる ②. 継続 3. 見直し 4. 廃止 5. その他()</p>

事業名	71 国際交流推進団体等の支援・育成	担当:秘書広報課	達成度
今年度実施した取り組み	市内のボランティアが講師となり、外国人居住者に日本語を教える「日本語ひろば」が立ち上がった。30年度は、広報つくばみらいへの日本語講師募集の記事を掲載したほか、市社会福祉協議会のボランティア連絡協議会を紹介した。		1 計画どおりに達成できた ② ほぼ計画通りに達成できた 3 計画にほぼ及ばない 4 計画にまったく及ばない 5 実施しなかった 効果 その他
現状と課題	国際交流を行う団体が、どのような支援を必要としているのかを把握する必要がある。		今後の方向
今後の取り組み	日本語ひろばの会員に話を聞き、どのような支援を必要としているのか、市としてどのような支援ができるのかを検討する。		1. 充実させる ②. 継続 3. 見直し 4. 廃止 5. その他()
事業名	61再 ハーモニーフライト事業への市民参加の促進	担当:地域推進課	達成度
今年度実施した取り組み	平成30年度より、茨城県のハーモニーフライト事業が廃止となった。		1 計画どおりに達成できた 2 ほぼ計画通りに達成できた 3 計画にほぼ及ばない 4 計画にまったく及ばない ⑤ 実施しなかった 効果
現状と課題			今後の方向
今後の取り組み	県の事業が廃止となったため、本事業も廃止とする。		1. 充実させる 2. 継続 3. 見直し ④. 廃止 5. その他()

主要課題1. 生涯を通じた健康づくりの促進 1. 生涯を通じた女性の健康増進

事業名	72 健康づくりの充実	担当:健康増進課	達成度
<p>今年度実施した取り組み</p>	<p>・20歳以上の女性を対象に、婦人科検診(子宮頸がん検診・乳がん検診)を実施した。 【集団検診】実施回数:年8回、受診者数:子宮頸がん検診744人、乳がん検診819人 【医療機関検診】実施期間:平成30年4月1日～平成31年3月31日、受診者数:子宮頸がん検診895人、乳がん検診870人</p> <p>・集団検診において託児付きの検診を実施した。 実施回数:4回、託児利用受診者:48人、託児した子どもの数:56人</p>		<p>1 計画どおりに達成できた ② ほぼ計画通りに達成できた 3 計画にほぼ及ばない 4 計画にまったく及ばない 5 実施しなかった</p> <p>効果</p> <p>健康状態を正しく理解し健康管理を行うことで、健やかで安心した生活を送ることができる</p>
<p>現状と課題</p>	<p>子育て世代が受診しやすい検診体制として、託児付きの検診日を設定し、実施した。</p>		<p>今後の方向</p>
<p>今後の取り組み</p>	<p>引き続き子育て世代が受診しやすい検診体制を整え、様々な機会を活用して周知するとともに受診者の増加を図る。</p>		<p>1. 充実させる ②. 継続 3. 見直し 4. 廃止 5. その他()</p>
事業名	73 こころの健康相談	担当:健康増進課	達成度
<p>今年度実施した取り組み</p>	<p>市内在住の精神面での問題を抱えている本人や、その家族や関係機関の者などを対象に、社会復帰及び自立を支援することを目的として相談を実施。また、必要に応じて関係機関との連絡調整やカンファレンスを行う。 相談内容としては主に、社会復帰相談・受診受療相談・障害年金相談・見守り訪問などである。スタッフは主に精神保健福祉士1名が対応しており、場合によっては、市職員や保健師の同行訪問、関係機関者の同行訪問も行っている。</p> <p>電話相談:532件 面接相談54件 訪問相談:132件</p>		<p>1 計画どおりに達成できた ② ほぼ計画通りに達成できた 3 計画にほぼ及ばない 4 計画にまったく及ばない 5 実施しなかった</p> <p>効果</p> <p>健康状態を正しく理解し健康管理を行うことで、健やかで安心した生活を送ることができる</p>
<p>現状と課題</p>	<p>1. 市民への周知方法が課題 2. 現状、主に精神保健福祉士が1名で対応している。</p>		<p>今後の方向</p>
<p>今後の取り組み</p>	<p>今後も同様の相談を行っていく。</p>		<p>1. 充実させる ②. 継続 3. 見直し 4. 廃止 5. その他()</p>

事業名	74 小・中学校における健康教育の推進	担当:教育指導課	達成度
今年度実施した取り組み	児童生徒の実態や発達段階に応じた計画的な保健教育の充実を図った。 薬物乱用防止教室や命(性)に関する講演会等を開催した。 児童生徒の実態に応じたがん教育の講演会を実施した。 栄養教諭及び栄養職員の専門性を生かした食に関する指導体制の確立と指導を実施した。		1 計画どおりに達成できた ② ほぼ計画通りに達成できた 3 計画にほぼ及ばない 4 計画にまったく及ばない 5 実施しなかった
			効果
現状と課題	自分の健康状態を的確に把握する力の育成と保護者への食に対する理解を図る必要がある。		今後の方向
今後の取り組み	保健教育を推進するための学校保健委員会の活性化を図る。 年間指導計画に基づく教育活動全体を通して組織的・計画的な指導の充実を図る。 外部講師を招いた健康安全に関する講演会の開催を行う。		1. 充実させる ②. 継 続 3. 見直し 4. 廃止 5. その他()
事業名	75 若い世代への健康教育の推進	担当:健康増進課	達成度
今年度実施した取り組み	婦人科検診において、健康教育を行った。 ・乳がん自己検診法 乳がん触診モデルを使って乳がんの基礎知識、早期発見の啓発を行った。		1 計画どおりに達成できた ② ほぼ計画通りに達成できた 3 計画にほぼ及ばない 4 計画にまったく及ばない 5 実施しなかった
			効果
現状と課題	若い世代に対して健康教育を行う機会をつくるのが難しい。		今後の方向
今後の取り組み	引き続き少ない機会を捉え、若い世代に向けた健康教育を行う。		1. 充実させる ②. 継 続 3. 見直し 4. 廃止 5. その他()

2. 妊娠・出産等に関する健康支援

事業名	76 母子保健サービスの充実	担当:健康増進課	達成度
<p>今年度実施した取り組み</p>	<p>生後4か月頃までの乳児と保護者に対し助産師・保健師が家庭訪問し新生児の発育・栄養・生活環境・疾病予防など育児上必要な事項について助言し、また様々な不安や悩みを聴くことで育児不安を軽減し、育児に対して自信を持てるように「新生児訪問・未熟児訪問・乳児家庭全戸訪問」を実施している。また、虐待の早期発見に努めている。</p> <p>・訪問率(3月時点) 95.2%(参考:H30.4~H31.3月出生数 475人)</p>		<p>① 計画どおりに達成できた ② ほぼ計画通りに達成できた ③ 計画にほぼ及ばない ④ 計画にまったく及ばない ⑤ 実施しなかった</p> <p>効果</p> <p>子どもを安心して生み育てる環境を整え、心身だけでなく経済的、社会的にも安心して生活することができる健康状態を正しく理解し健康管理を行うことで、健やかに安心して生活を送ることができる</p>
<p>現状と課題</p>	<p>特定妊婦の増加に伴い、妊娠期から訪問後の経過観察まで必要となる事例が増加している。</p>		<p>今後の方向</p>
<p>今後の取り組み</p>	<p>委託助産師との連携を図り、母子保健事業への参加を促し継続的な支援を実施する。</p>		<p>1. 充実させる ②. 継続 3. 見直し 4. 廃止 5. その他()</p>

主要課題2. 困難な立場にある男女への支援 1. ひとり親家庭への自立支援

事業名	77 ひとり親家庭に対する支援の充実	担当:こども課	達成度
<p>今年度実施した取り組み</p>	<p>母子家庭・寡婦、父子家庭に対し、生活一般、児童、経済的支援・生活援護等について相談を実施。</p> <p>1.相談実績(相談件数/相談回数) 母子家庭・寡婦⇒生活一般:121件/244回, 児童:22件/79回, 経済的支援・生活援護:38件/74回 父子家庭⇒生活一般:1件/2回, 児童:3件/6回, 経済的支援・生活援護:2件/4回</p> <p>2.母子寡婦福祉資金の貸し付け 概要⇒母子家庭及び父子家庭、寡婦の経済的自立や扶養している子の福祉のために、必要な資金を貸し付ける。 実績⇒相談人数4人, 相談件数12回, ※貸し付けに至った者は0人</p> <p>3.手当等の情報提供 児童扶養手当, 母子・父子家庭等福祉金等について、広報、HPで周知</p>		<p>1 計画どおりに達成できた ② ほぼ計画通りに達成できた ③ 計画にほぼ及ばない ④ 計画にまったく及ばない ⑤ 実施しなかった</p> <p>効果</p> <p>自分の生き方を自分で決めることができる</p>
<p>現状と課題</p>	<p>育児に関する悩みに加え、経済的不安を抱えている場合が多いため、総合的な支援が重要である。</p>		<p>今後の方向</p>
<p>今後の取り組み</p>	<p>ひとり親の悩みを総合的に判断し、必要に応じて関係機関の情報提供等を実施し、解決に向けた支援を関係機関とともに実施していく。 手当等の制度が理解しやすいリーフレットの作成をする。</p>		<p>1. 充実させる ②. 継続 3. 見直し 4. 廃止 5. その他()</p>

事業名	78 医療福祉費支給制度	担当:国保年金課	達成度
今年度実施した取り組み	ひとり親家庭(母子家庭・父子家庭)が必要とする医療を容易に受けられるよう、受給者証を交付し医療費の負担を軽減した。 母子家庭 H30 対象者数 723人 助成金額 20,331千円 父子家庭 H30 対象者数 66人 助成金額 1,298千円		① 計画どおりに達成できた ② ほぼ計画通りに達成できた ③ 計画にほぼ及ばない ④ 計画にまったく及ばない ⑤ 実施しなかった
			効果
現状と課題	既に該当となってる受給者は、所得状況、世帯状況により一年毎に更新し、新規で該当になる方には制度を説明のうえ受給者証を交付している。		今後の方向
今後の取り組み	今後も継続しひとり親家庭(母子家庭・父子家庭)の一部負担金相当額を助成し、医療費の負担軽減を図る。		1. 充実させる ②. 継続 ③. 見直し ④. 廃止 ⑤. その他()

2. 若者への自立支援

事業名	79 若者の就労支援	担当:産業経済課	達成度
今年度実施した取り組み	ハローワーク、県労働政策課、いばらき県南若者サポートステーション、ポリテクセンターと連携し、就職に関連する情報提供や相談に応じた。 ・ハローワーク求人情報 毎週月曜日に両庁舎へ掲示および市HPへ掲載 ・毎月1回、谷和原公民館で出張相談を実施		1 計画どおりに達成できた ② ほぼ計画通りに達成できた ③ 計画にほぼ及ばない ④ 計画にまったく及ばない ⑤ 実施しなかった
			効果
現状と課題	求人は多く掲載されているが、条件がマッチしないためか就労に結びつかない。若者からの就労相談は少ない。		今後の方向
今後の取り組み	継続して就労に関する情報を提供していく		1. 充実させる ②. 継続 ③. 見直し ④. 廃止 ⑤. その他()

3. 高齢・障がい等により生活上の困難に直面する人への支援

事業名	80 地域ケアシステム推進事業	担当:社会福祉課	達成度
<p>今年度実施した取り組み</p>	<p>日常生活が困難な支援を要する高齢者、障がい者(児)、難病患者、児童等の一人ひとりのニーズに合った、適切かつ総合的な福祉・保健・医療のサービスの提供を図るため、地域ケアシステムの運営を社会福祉協議会への委託事業として行った。 ケアチーム会議における会議員は、地域ケアシステムサービス調整会議の設置目的に即した活動を展開できるような検討ケースごとに柔軟に選出し、随時、会議を開催した。</p> <p>○在宅ケアチーム会議 30回 ○相談延件数 309件</p>		<p>① 計画どおりに達成できた ② ほぼ計画通りに達成できた ③ 計画にほぼ及ばない ④ 計画にまったく及ばない ⑤ 実施しなかった</p> <p>効果</p> <p>自分の生き方を自分で決めることができる 男女がそれぞれ経済的、社会的に自立できる社会ができる 子どもを安心して生み育てる環境を整え、心身だけでなく経済的、社会的にも安心して生活することができる</p>
<p>現状と課題</p>	<p>ケアチーム会議における会議員を検討ケースごとに柔軟に選出することで、問題解決のため効果的に会議を運営できている。</p>		<p>今後の方向</p>
<p>今後の取り組み</p>	<p>引き続き、社会福祉協議会と連携しながら、効率的かつ適切な福祉・保健・医療の各種サービスを提供できるよう、福祉コミュニティづくりを推進する。</p>		<p>1. 充実させる ②. 継続 3. 見直し 4. 廃止 5. その他()</p>
事業名	80 地域ケアシステム推進事業	担当:介護福祉課	達成度
<p>今年度実施した取り組み</p>	<p>日常生活が困難な支援を要する高齢者、障がい者(児)、難病患者、児童等の一人ひとりのニーズに合った、適切かつ総合的な福祉・保健・医療のサービスの提供を図るため、地域ケアシステム推進事業を、社会福祉協議会に委託し行った。 ケアチーム会議における会議員は、地域ケアシステムサービス調整会議の設置目的に即した活動を展開できるような検討ケースごとに柔軟に選出し、随時、会議を開催した。</p> <p>○在宅ケアチーム会議 30回 ○相談延件数 309件</p>		<p>① 計画どおりに達成できた ② ほぼ計画通りに達成できた ③ 計画にほぼ及ばない ④ 計画にまったく及ばない ⑤ 実施しなかった</p> <p>効果</p> <p>自分の生き方を自分で決めることができる 男女がそれぞれ経済的、社会的に自立できる社会ができる 子どもを安心して生み育てる環境を整え、心身だけでなく経済的、社会的にも安心して生活することができる</p>
<p>現状と課題</p>	<p>ケアチーム会議における会議員を検討ケースごとに柔軟に選出することで、問題解決のため効果的に会議を運営できている。</p>		<p>今後の方向</p>
<p>今後の取り組み</p>	<p>引き続き、社会福祉課や社会福祉協議会と連携しながら、効率的かつ適切な福祉・保健・医療の各種サービスを提供できるよう、福祉コミュニティづくりを推進する。</p>		<p>1. 充実させる ②. 継続 3. 見直し 4. 廃止 5. その他()</p>

事業名	81 地域包括支援センター事業	担当:介護福祉課	達成度
今年度実施した取り組み	<p>・伊奈庁舎の介護福祉課の隣に地域包括支援センターを配置し、地域に居住する高齢者の総合的な総合窓口として介護保険、認知症、在宅医療、権利擁護等様々な相談に対し、専門職が総合的に支援を実施した。</p> <p>・平成30年度実績 総合相談対応延件数 3,396件</p>		<p>1 計画どおりに達成できた ② ほぼ計画通りに達成できた 3 計画にほぼ及ばない 4 計画にまったく及ばない 5 実施しなかった</p> <p style="text-align: center;">効果</p> <p>男女の人権を尊重する意識を育むことが期待できる 自分の生き方を自分で決めることができる 男女がそれぞれ経済的、社会的に自立できる社会ができる</p>
現状と課題	高齢者の増加に加え相談内容も複雑多岐にわたっている。相談に対応するための、専門職の資質の向上と人材確保が必要である。		今後の方向
今後の取り組み	引き続き今年度同様の取組を継続していくとともに、高齢者の相談に迅速丁寧に対応できるよう職員の確保と資質向上を図っていく。		<p>1. 充実させる ②. 継続 3. 見直し 4. 廃止 5. その他()</p>
事業名	82 介護予防事業の推進	担当:介護福祉課	達成度
今年度実施した取り組み	<p>・介護予防普及啓発事業</p> <p>①『生き生きクラブ』シルバーリハビリ体操指導士が中心となりいきいきヘルス体操を実施(延1,376人)</p> <p>②『知って納得やって満足お手軽「出前講座」』介護予防に関する講話や体操を、複数人の団体を対象に市内の集会所等で実施(160回 延1,999人) ③『貯筋教室』健康運動指導士による筋力増加のための運動(125回 延3,018人)</p>		<p>1 計画どおりに達成できた ② ほぼ計画通りに達成できた 3 計画にほぼ及ばない 4 計画にまったく及ばない 5 実施しなかった</p> <p style="text-align: center;">効果</p> <p>地域社会や団体等で男女共にリーダーシップを発揮することができる</p>
現状と課題	ボランティアである「シルバーリハビリ体操指導士」の活躍により、教室会場と教室回数が確保されている。参加者は毎週定期的に参加する方が多くなっていると感じられる。参加者の増加のため、周知啓発に力をいれ新規参加者を募っていきたい。		今後の方向
今後の取り組み	現在の教室を継続していくとともに、新たな会場・参加者・ボランティアの発掘や確保を目指していく。		<p>1. 充実させる ②. 継続 3. 見直し 4. 廃止 5. その他()</p>

事業名	83 障がい者に対する各種制度の周知	担当:社会福祉課	達成度
今年度実施した取り組み	<p>障がい別かつ等級別に、どういったサービスが利用できるかが一目でわかる制度一覧表を付した「障がい者支援のしおり」を作成し、新規手帳の交付の際や、相談があった際に、説明とともに配布した。市HPにも掲載を行った。</p> <p>また、市内の障がい者(児)の当事者または家族により形成している団体の会合や特別支援学校のPTA懇談会に参加し、コミュニケーションを向上させながら制度の周知説明を実施し、理解を得ることができた。</p>	<p>1 計画どおりに達成できた ② ほぼ計画通りに達成できた 3 計画にほぼ及ばない 4 計画にまったく及ばない 5 実施しなかった</p> <p>効果</p> <p>自分の生き方を自分で決めることができる 性別による役割分担意識の解消ができる 地域社会や団体等で男女共にリーダーシップを発揮することができる 男女がそれぞれ経済的、社会的に自立できる社会ができる 性別に関係なく、個人の個性・能力に応じた学習機会を提供できる 子どもを安心して生み育てる環境を整え、心身だけでなく経済的、社会的にも安心して生活することができる</p>	
現状と課題	各種制度の周知について、更なる充実を図っていく必要がある。	今後の方向	
今後の取り組み	引き続き、障がい者支援のしおりを作成するとともに、広報つくばみらい等さまざまな媒体を通じて情報提供を行っていく。	<p>1. 充実させる ②. 継続 3. 見直し 4. 廃止 5. その他()</p>	
事業名	84 地域活動支援センター事業	担当:社会福祉課	達成度
今年度実施した取り組み	<p>障がい者が各人の有する能力及び適性に応じ、自立した社会生活を営むことができるよう、創作的活動又は生産活動の機会の提供、社会との交流の促進等の便宜を供与することにより、障がい者の地域生活の支援を行った。4事業所(つくばライフサポートセンターみどりの、ひまわり園、さくら園、ふれんず)ともに委託事業である。</p> <p>○つくばライフサポートセンターみどりの 実利用者数7人 延利用者数739人 ○ひまわり園 実利用者数13人 延利用者数2,891人 ○さくら園 実利用者数6人 延利用者数602人 ○ふれんず 実利用者数46人 延利用者数6,851人</p>	<p>1 計画どおりに達成できた ② ほぼ計画通りに達成できた 3 計画にほぼ及ばない 4 計画にまったく及ばない 5 実施しなかった</p> <p>効果</p> <p>自分の生き方を自分で決めることができる 性別による役割分担意識の解消ができる 男女がそれぞれ経済的、社会的に自立できる社会ができる 性別に関係なく、個人の個性・能力に応じた学習機会を提供できる</p>	
現状と課題	さくら園の利用者及び利用率が減少している。	今後の方向	
今後の取り組み	引き続き、地域活動支援センターの適正運営に努め、創作的活動・生産活動の機会、社会との交流の場を提供する。また、ひまわり園・さくら園を運営適正化・効率化のため統合する。	<p>1. 充実させる ②. 継続 3. 見直し 4. 廃止 5. その他()</p>	

事業名	85 民生委員・児童委員の地域活動	担当:社会福祉課	達成度
今年度実施した取り組み	<p>高齢者への声かけ、見守り、訪問、相談等の実施により高齢者に対する支援体制の充実を図った。</p> <p>児童に関しては、主任児童委員を中心に学校訪問などを実施することで地域の児童の実情を把握し、安心安全な地域づくりに貢献した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者に関する相談 1,024件 ・子どもに関する相談 123件 		① 計画どおりに達成できた ② ほぼ計画通りに達成できた ③ 計画にほぼ及ばない ④ 計画にまったく及ばない ⑤ 実施しなかった
			効果
			男女の人権を尊重する意識を育むことが期待できる 地域社会や団体等で男女共にリーダーシップを発揮することができる 性別に関係なく、個人の個性・能力に応じた学習機会を提供できる 子どもを安心して生み育てる環境を整え、心身だけでなく経済的、社会的にも安心して生活することができる
現状と課題	民生委員児童委員のなり手不足、委員と対象者のかかわり方(線引き)が課題である。		今後の方向
今後の取り組み	毎月実施の定例会等で研修を行い、委員の資質の向上に努め、地域福祉の推進を図る。		1. 充実させる ②. 継続 3. 見直し 4. 廃止 5. その他()
事業名	85 民生委員・児童委員の地域活動	担当:介護福祉課	達成度
今年度実施した取り組み	<p>民生委員・児童委員が、担当地域内の高齢者の実態を把握し、高齢者に即した生活援助事業を紹介するとともに、定期的に訪問するなどして見守りを行った。</p>		1 計画どおりに達成できた ② ほぼ計画通りに達成できた 3 計画にほぼ及ばない 4 計画にまったく及ばない 5 実施しなかった
			効果
			自分の生き方を自分で決めることができる 男女がそれぞれ経済的、社会的に自立できる社会ができる
現状と課題	声かけを嫌う方に対しての係りが難しい		今後の方向
今後の取り組み	引き続き今年度同様の取組を継続していく		1. 充実させる ②. 継続 3. 見直し 4. 廃止 5. その他()

4. 性的マイノリティへの理解促進

事業名	86 性的マイノリティに関する啓発、相談体制の整備	担当:地域推進課	達成度
<p>今年度実施した取り組み</p>	<p>・「L性別に関係なく、個人の個性・能力に応じた学習機会を提供できる自分の生き方を自分で決めることができるTなどの性的少数者に配慮した行政窓口での対応の手引き」を作成して、職員に配布し、適切な対応をするよう呼びかけた。</p> <p>・L性別に関係なく、個人の個性・能力に応じた学習機会を提供できる自分の生き方を自分で決めることができるTなどの性的少数者を含めて、誰もがトイレを利用しやすくなるよう、平成31年度に市内公共施設等のトイレに「だれでもトイレ」と記載したシールを貼ることとし、市内の多目的トイレの数について調査した。</p> <p>・市HPIに法務省の関連ページをリンクした。</p>		<p>1 計画どおりに達成できた ② ほぼ計画通りに達成できた 3 計画にほぼ及ばない 4 計画にまったく及ばない 5 実施しなかった</p> <p>効果</p>
<p>現状と課題</p>	<p>社会では、未だ性的思考に関して根強い偏見や差別があり、当事者は戸惑いや不安など、生きづらさを感じている。</p>		<p>今後の方向</p>
<p>今後の取り組み</p>	<p>・誰もが、性別に関係なく、個性と能力を尊重して活躍できる社会に向けて、理解促進に向けた啓発活動を進めていく必要がある。</p> <p>・市職員が、状況に応じて適切な対応を行うことができるよう、定期的な手引きの確認を促す。</p>		<p>1. 充実させる ②. 継続 3. 見直し 4. 廃止 5. その他()</p>
事業名	86 性的マイノリティに関する啓発、相談体制の整備	担当:地域推進課	達成度
<p>今年度実施した取り組み</p>	<p>人権が尊重される社会づくりは必要不可欠であることから、人権擁護委員による相談事業である「特設人権相談所」を毎月1回実施している。</p>		<p>① 計画どおりに達成できた 2 ほぼ計画通りに達成できた 3 計画にほぼ及ばない 4 計画にまったく及ばない 5 実施しなかった</p> <p>効果</p> <p>人権が尊重される社会づくり</p>
<p>現状と課題</p>	<p>これまでの相談において、性的マイノリティに関する実績はない。</p>		<p>今後の方向</p>
<p>今後の取り組み</p>	<p>「啓発」における取り組みの機会と連携を図る。</p>		<p>1. 充実させる ②. 継続 3. 見直し 4. 廃止 5. その他()</p>

(1)市役所でのハラスメント対策

事業名	① ハラスメントに関する市職員研修の実施	担当:総務課	達成度
今年度実施した取り組み	<p>ハラスメント防止に関する研修については、定期的に係長級以上の管理職員及び希望者を対象として実施している。今後もセクハラやパワハラなどのハラスメント防止のための研修を定期的に行いハラスメント防止を図る。</p> <p>過去の開催実績 平成29年度,平成26年度</p>		<p>① 計画どおりに達成できた ② ほぼ計画通りに達成できた ③ 計画にほぼ及ばない ④ 計画にまったく及ばない ⑤ 実施しなかった</p>
			<p>効果</p> <p>事業所・経営者の男女平等意識の向上が期待できる</p>
現状と課題	平成30年度におけるハラスメントの相談件数は無かったが、職員に対するハラスメント防止は継続していく必要がある。		今後の方向
今後の取り組み	定期的なハラスメント研修を開催し、ハラスメント防止に努める。		<p>1. 充実させる ②. 継続 3. 見直し 4. 廃止 5. その他()</p>
事業名	② 市職員向けハラスメント相談窓口の周知	担当:総務課	達成度
今年度実施した取り組み	<p>人事担当者向けのハラスメント相談窓口研修は平成29年度に実施し、職員がいつでも相談できるような体制づくりを行った。</p>		<p>1 計画どおりに達成できた ② ほぼ計画通りに達成できた ③ 計画にほぼ及ばない ④ 計画にまったく及ばない ⑤ 実施しなかった</p>
			<p>効果</p> <p>事業所・経営者の男女平等意識の向上が期待できる</p>
現状と課題	平成30年度における相談件数はないが、相談しやすい環境を整えていく必要がある。		今後の方向
今後の取り組み	庁内掲示板などを活用して、ハラスメントに関する相談窓口の周知活動を行う。		<p>1. 充実させる ②. 継続 3. 見直し 4. 廃止 5. その他()</p>

(2)ワーク・ライフ・バランスの推進

事業名	③ 市役所におけるワーク・ライフ・バランスの推進	担当:総務課	達成度
今年度実施した取り組み	家庭生活と仕事の両立を図れるよう、平成30年度から時差出勤制度を実施した。また、長時間労働を是正するための取組として、水・金曜日をノー残業デーとし、当日に庁内掲示板でアナウンスすることにより定時退庁を促し、メリハリのある働き方の推進を行った。		① 計画どおりに達成できた ② ほぼ計画通りに達成できた ③ 計画にほぼ及ばない ④ 計画にまったく及ばない ⑤ 実施しなかった 効果 事業所・経営者の男女平等意識の向上が期待できる
現状と課題	ノー残業デーにおける時間外勤務を減少させるための取組が必要である。また、利用しやすい時差出勤制度の構築が必要である。		今後の方向
今後の取り組み	更なるワークライフバランスの推進のため、時差出勤制度の利用事由拡大を検討する。		①. 充実させる ②. 継続 ③. 見直し ④. 廃止 ⑤. その他()

(3)女性の職域拡大の推進

事業名	④ 女性職員の職域の拡大	担当:総務課	達成度
今年度実施した取り組み	女性職員のキャリア形成意識については、茨城県自治研修所主催の研修に参加し実施している。また、性別を問わない能力や実績に応じた積極的な人材登用をするため、昇任試験を導入した。		① 計画どおりに達成できた ② ほぼ計画通りに達成できた ③ 計画にほぼ及ばない ④ 計画にまったく及ばない ⑤ 実施しなかった 効果 事業所・経営者の男女平等意識の向上が期待できる
現状と課題	研修等により女性のキャリア形成意識を高めている。男女問わず自己の能力を発揮できる職場づくりが必要である。		今後の方向
今後の取り組み	性別により固定化された職域を見直し、女性職員が個性や能力を発揮できる職場づくりに努める。		①. 充実させる ②. 継続 ③. 見直し ④. 廃止 ⑤. その他()

数値目標

項目	1 家庭教育学級における啓発活動	担当:地域推進課	目標値
今年度実施した取り組み	・家庭教育学級担当者説明会において、男女共同参画について説明を行うとともに、家庭教育学級構成員に対して、第2次男女共同参画計画概要版を配布するよう依頼した。		13学級
			前年数値
現状と課題	家庭教育学級の担当者が集まる機会を活用し、男女共同参画に関する周知を図っている。		現状値
今後の取り組み	家庭教育学級構成員は、毎年変わるため、来年度以降も継続して同様の啓発活動を行う。		13学級

項目	2 男性は仕事、女性は家庭という考えに同感しない市民の割合	担当:地域推進課	目標値
今年度実施した取り組み	今年度は市民意識調査を実施しなかった。		60%
			前年数値
現状と課題			56.9%
今後の取り組み			現状値
			-

項目	3 社会全体で、男女の地位が平等になっていると思う市民の割合	担当:地域推進課	目標値
今年度実施した取り組み	今年度は市民意識調査を実施しなかった。		17%
			前年数値
現状と課題			13.50%
今後の取り組み			現状値
			-

項目	4 DVIに関する啓発活動の実施回数	担当:地域推進課	目標値
今年度実施した取り組み	・11月号広報つくばみらいにて、あらゆる暴力の根絶に向けて、多様化する暴力の種類について紹介する記事を掲載した。また、各種相談窓口を掲載し、被害にあった場合には、相談するよう促した。		2回
			前年数値
現状と課題	啓発機会が少ないため、充実させる必要がある。		1回
今後の取り組み	DVIについて広く理解していただけるよう、広報つくばみらい等で周知を行う回数を増やす。		現状値
			1回

項目	5 ワーク・ライフ・バランスに取り組んでいる事業所	担当:地域推進課	目標値
今年度実施した取り組み	市内事業所150ヶ所を対象として調査を実施したところ、67事業所より回答があり、そのうち44事業所において、ワーク・ライフ・バランスに取り組んでいると回答があった。 取り組みとして最も多かったのは、「長時間労働の削減」であり、「有給休暇の取得促進」「仕事と育児の両立支援」が後に続く。		55%
			前年数値
現状と課題	ワーク・ライフ・バランスに関する取り組みを行っていない事業所が回答企業の中で3割超あった。		49.9%
今後の取り組み	事業所における取組に関係するような啓発物を積極的に郵送する。		現状値
			65.6%

項目	6 再就職支援セミナーの回数	担当:地域推進課	目標値
今年度実施した取り組み	・より多くの方に参加してもらえよう、市が指定した日時に、指定した場所で実施する形式から、参加者が希望する日時に、希望する場所で実施する形式に変更した。 ・3名が参加を希望したため、3回実施した。		3回
			前年数値
現状と課題	想定よりも参加者が少なかった。		2回
今後の取り組み	より多くの方に参加してもらえよう、周知方法を検討する必要がある。		現状値
			3回

項目	7 新規就農女性者数	担当:産業経済課	目標値
今年度実施した取り組み	就農を志す女性に対し、つくば地域農業改良普及センターと連携し就農相談等の支援を行った。		1人
			前年数値
現状と課題	「農業＝男性の職業」というイメージが根強く、女性の就農希望が少ない。		0人
今後の取り組み	随時就農相談の受付を行う。		現状値
			0人

項目	8 家族経営認定実施数	担当:産業経済課	目標値
今年度実施した取り組み	農業従事者については、農業経営改善計画認定申請研修会時に家族経営協定制度の説明を実施し、整備のための情報を提供している。 研修会実施日及び出席数 平成30年 12月26日・・・ 6経営体 対象者 5年間の認定期間が満了する認定農業者、新規に認定農業者になることを希望する農業者 推進に当たっての協力者		10経営体
			前年数値
現状と課題	家族の中で1人のみが就農するケースが大半であり、協定締結に至らない。また、締結したとしてもメリットが少ない。		9経営体
今後の取り組み	引き続き農業者に対し周知を行っていく。		現状値
			10経営体

項目	9 女性人材登録者数	担当:地域推進課	目標値
今年度実施した取り組み	・広報つくばみらいおよび市HPにおいて、登録してもらえるよう周知を行った。		15人
			前年数値
現状と課題	審議会の内容によっては、適任者がいない場合もあり、様々な分野で活躍する女性に、「女性人材」に登録していただく必要がある。		現状値
今後の取り組み	様々な分野で活躍する女性に登録していただけるよう、広報つくばみらいに記事を掲載するだけでなく、適任者の発掘を検討する。		10人

項目	10 審議会等における女性委員の割合	担当:地域推進課	目標値
今年度実施した取り組み	・庁内掲示板にて、審議会等委員を委嘱する際には、出来る限り女性の委員数が3割以上となるよう依頼した。 ・審議会等委員を委嘱する機会には、女性人材登録制度を活用するよう働きかけた。		30%
			前年数値
現状と課題	審議会の内容によっては、適任者がいない場合もあり、様々な分野で活躍する女性に、「女性人材」に登録していただく必要がある。		現状値
今後の取り組み	様々な分野で活躍する女性に登録していただけるよう、広報つくばみらいに記事を掲載するだけでなく、市から適任者を発掘し、登録を働きかける。		26.3%

項目	11 女性消防団員数	担当:防災課	目標値
今年度実施した取り組み	市の新規採用職員に対して研修時に消防団加入依頼を実施し、市HPにて加入募集の掲載を行った。また、市防災訓練、出張・高岡の綱火警戒、商工祭、火災予防パレード、消防出初式、第3回みらいマラソンでのイベント等様々な活動を行い女性消防団を市民に周知した。		15人
			前年数値
現状と課題	2022年度までの女性消防団員目標数を15人としているが、年々団員が減少しており団員確保が課題である。		現状値
今後の取り組み	引き続き、市民の集まるイベント等で火災予防運動や広報啓発活動等を行い、女性消防団の活動を市民へ周知し加入促進を図る。		12人

項目	12 自治会などの地域活動に夫婦分担で参加	担当:地域推進課	目標値
今年度実施した取り組み	今年度は市民意識調査を実施しなかった。		41%
			前年数値
現状と課題			現状値
今後の取り組み			

項目	13 介護予防事業への参加者数	担当:介護福祉課	目標値
今年度実施した取り組み	・介護予防普及啓発事業 ①『生き生きクラブ』シルバーハビリ体操指導士が中心となりいきいきヘルス体操を実施(延1,520人) ②『知って納得やって満足お手軽』出前講座』介護予防に関する講話や体操を、複数人の団体を対象に市内の集会所等で実施(160回 延1,999人) ③『貯防教室』健康運動指導士による筋力増加のための運動(125回 延3,018人)		5,900人
			前年数値
現状と課題	ボランティアである「シルバーハビリ体操指導士」の活躍により、教室会場と教室回数が増えている。参加者は毎週定期的に参加する方が多くなっていると感じられる。参加者の増加のため、周知啓発に力を入れ新規参加者を募ってきたい。		現状値
今後の取り組み	現在の教室を継続していくとともに、新たな会場・参加者・ボランティアの発掘や確保を目指していく。		6,537人

項目	市の男性職員の育児休業取得率	担当:総務課	目標値
今年度実施した取り組み	誰もが確認できるよう、庁内ネットワークに「出産・育児に関する手続きガイド」を掲示し、男性職員の育児休業取得に向けた取り組みを行い、2名の男性職員が育児休業を取得し、目標値を上回る7%となった。		5%
			前年数値
現状と課題	配偶者出産時の特別休暇は100%取得しているものの、男性職員の育児休業についての認知度は低く取得率が低いため、更なるPRが必要である。		現状値
今後の取り組み	定期的に制度の周知を行い、男性の育児休業取得の増加を図る。		7%

項目	市の管理職のうち、女性職員の割合(課長以上)	担当:総務課	目標値
今年度実施した取り組み	茨城県自治研修所で開催されている女性職員のための研修に派遣することにより、女性職員のキャリア意識の形成を図った。		20%
			前年数値
現状と課題	昇任試験を受験する女性職員が少ない。		現状値
今後の取り組み	女性職員を対象とした、キャリア意識を形成するための研修会に派遣する。		12.90%